



<p>E 単元 伝え合いのレッスン 【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。【1エ】 【思考力、判断力、表現力等】 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫することができる。【Aオ】 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深め言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</p>	<p>相手・場面に合わせた話し方、話し合いのルール (対話のレッスン、絵や写真を説明しよう等)</p>	<p>○</p>	<p>【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。【1エ】 【思考力、判断力、表現力等】 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。【Aオ】 【主体的に学習に取り組む態度】 学習の見通しをもち、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めて自分の考えをもつ中で、自らの学習を調整しようとしている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>8</p>
<p>F 単元 説得力を高める 【知識及び技能】 主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。【2ア】 【思考力、判断力、表現力等】 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができる。【Bイ】 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深め言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</p>	<p>意見文の構成、推敲 (意見文の基礎を学ぼう等)</p>	<p>○</p>	<p>【知識及び技能】 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。【2ア】 【思考力、判断力、表現力等】 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。【Bイ】 【主体的に学習に取り組む態度】 学習の見通しをもち、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めて自分の考えをもつ中で、自らの学習を調整しようとしている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>8</p>
<p>定期考査</p>							
<p>G 単元 情報と向き合う 【知識及び技能】 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。【2エ】 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。【Cイ】 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深め言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</p>	<p>情報の吟味、図やグラフの種類と読み取り (「情報の力関係」「どこもかしこもプラスチック!」等)</p>	<p>○</p>	<p>【知識及び技能】 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深めている。【2エ】 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。【Cイ】 【主体的に学習に取り組む態度】 学習の見通しをもち、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めて自分の考えをもつ中で、自らの学習を調整しようとしている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>10</p>
<p>H 単元 他者を動かす/社会に目を向けて 【知識及び技能】 引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使うことができる。【2オ】 【思考力、判断力、表現力等】 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることができる。【Bエ】 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深め言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</p>	<p>読者をひきつける工夫、紹介文 (本のPOPを作ろう、相手を動かす依頼文を書こう等)</p>	<p>○</p>	<p>【知識及び技能】 引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。【2オ】 【思考力、判断力、表現力等】 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直している。【Bエ】 【主体的に学習に取り組む態度】 学習の見通しをもち、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めて自分の考えをもつ中で、自らの学習を調整しようとしている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>8</p>
<p>定期考査</p>							
<p>合計</p>							<p>70</p>



東京都立小台橋高等学校 年間授業計画 令和05年度

教科 **公民** 科目 **公共**

教科：公民 科目：公共 単位数：2 単位

対象年次：第 1年次

使用教科書・補助教材：公共（東法 公共712）

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】	現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	現代の諸課題について多面的・多角的に考察したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら議論する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解する。現代の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現する。思考実験などを通して人間としての在り方生き方について、多面的・多角的に考察し、表現する。	現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	記 時 数
A 単元：公共の扉 【知識及び技能】 科目の授業目的を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 公共の意味を表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分らしさについて考察しようとする。	公共という言葉の使用例を調べ、公共という言葉の意味を探究する。学習指導要領や教科書の文言から、授業の目的を理解する。青年の意義について理解し、自分らしさについて探究する。カント、ミルの自由に関する考えを理解し、個人の尊重の大切さを理解する。「空気を読む」日本社会の中でどう生きるかについて、探究する。	【知識・技能】 授業の目的や青年期の意義について理解している。 【思考・判断・表現】 公共という言葉の意味について表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本社会の中で自分らしく生きるためにどう振舞うべきか、深めようとしている。	○	○	○	10
B 単元：幸福に生きるには 【知識及び技能】 哲学の意義を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 不知の自覚の意味を表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 幸福観を探究しようとする。	哲学とは「本質をとらえる営み」であり、物事の根本を問うことの大切さに気付かせる。「不知の自覚」について理解し、学び続けることの大切さに気付かせる。アリストテレスの幸福に関する考え方を理解する。サンデルの政治哲学にアリストテレスの思想が受け継がれていることを理解し、自分自身の幸福観を探究する。	【知識・技能】 哲学することの意義について理解している。 【思考・判断・表現】 不知の自覚の意味を理解し、学びの糧として重要な概念であることを表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 先哲の幸福観を参考に、自分自身の幸福について深めようとしている。	○	○	○	10
C 単元：宗教と人間 【知識及び技能】 一神教、仏教の教義を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の宗教受容について、多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 寛容の精神を尊重しようとする。	世界の宗教のおおまかな分類、キリスト教とイスラム教の基本的な教義について理解し、現代社会に生きる私たちの在り方生き方を探究する。仏教の基本的な教義と、仏教を含めた日本の宗教受容の歴史について理解する。「寛容」「文化相対主義」という考え方に注目させ、共に生きる社会について探究する。	【知識・技能】 一神教の基本的な教義について理解している。 【思考・判断・表現】 仏教の日本における受容の在り方について表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界の宗教を参考に、寛容の精神を尊重しようとしている。	○	○	○	10
D 単元：戦争と平和を考える 【知識及び技能】 日本国憲法の平和主義を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 被爆者の体験談の感想を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 国際平和に向けて自分自身何ができるか、主体的に向き合おうとする。	日本国憲法前文にある、国際平和に対する意志を読み取る。被爆者の体験談を聞き、戦争の悲惨さや過去を乗り越える手立てを考える。国際平和に貢献するために何ができるかについて、考える。	【知識・技能】 日本国憲法の平和主義を理解している。 【思考・判断・表現】 被爆者の体験談にもとづき、戦争の悲惨さや過去の克服について考え、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 国際平和に向けて自分自身何ができるか、身近なところから取り組もうとしている。	○	○	○	4
E 単元：民主政治と私たち① 【知識及び技能】 民主主義の諸原理を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 18歳選挙制の意義を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 メディアリテラシーの考え方を手掛かりに情報を取捨選択しようとする。	民主主義の諸原理の形成を、歴史に立ち返って理解する。日本の国会と内閣の役割について理解し、日本の政治の課題について考える。公職選挙法の改正により満18歳から参政権が得られた意義について考える。メディアリテラシーの考え方について理解し、フェイクニュースに惑わされないためにはどうすればよいか考える。	【知識・技能】 民主主義の諸原理や日本の国会、内閣のしくみを理解している。 【思考・判断・表現】 18歳選挙制の意義について、自分事として考え、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 メディアリテラシーを活用しようとしている。	○	○	○	10
F 単元：民主政治と私たち② 【知識及び技能】 基本的人権の考え方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 安楽死の是非について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会における具体的な人権問題について問題意識を持とうとする。	自由権、平等権、社会権、新しい人権など、基本的人権の考え方について理解する。「新しい人権」のうち、「自己決定権」について考える。現代日本社会における基本的人権にかかわる問題として、「女性差別を含めた、性に関する差別」「外国人労働者に関する差別」について考える。	【知識・技能】 基本的人権の考えかたを理解している。 【思考・判断・表現】 安楽死の是非を手掛かりに、自己決定権の在り方について考え、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会における人権問題について、自分事としてとらえようとしている。	○	○	○	8
G 単元：経済社会で生きる私たち 【知識及び技能】 資本主義の仕組みを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 資本主義の問題点を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 税と社会保障の一体化について問題意識を持とうとする。	資本主義経済の仕組みについて理解する。現代の労働環境の課題について理解し、自分自身の働く意義について考える。財政と社会保障のしくみと役割について、租税のはたらきと関連させながら理解し、社会保障のあり方について考える。	【知識・技能】 資本主義経済や社会保障制度の仕組みについて理解している。 【思考・判断・表現】 資本主義の問題点について表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 税と社会保障の一体化について、主権者として主体的に向き合おうとしている。	○	○	○	10
H 単元：国際社会のなかで生きる私たち 【知識及び技能】 国際社会の仕組みを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自衛隊の役割について表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 地球規模の諸課題について問題意識を持とうとする。	国際社会の成り立ちを歴史をたどりながら理解する。国連の役割について考える。日本の平和主義と自衛隊の役割について考える。貿易や外国為替の意義と役割について理解する。地域統合や地球規模の経済的諸課題について考える。	【知識・技能】 国際社会の仕組みについて理解している。 【思考・判断・表現】 自衛隊の意義と役割について、日本の平和主義と関連付けながら考え、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 地球規模の諸課題について、身近なところから解決しようとしている。	○	○	○	8
						合計
						70

東京都立小台橋高等学校 年間授業計画 令和05年度

教科 **地理歴史** 科目 **地理総合**

教科： 地理歴史 科目： 地理総合 単位数： 2 単位

対象年次： 第 1・2・3・4年次

使用教科書・補助教材： 高等学校 新地理総合（帝国 地総703）

標準高等地図（帝国 地図703）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】

現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解させる。  
調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に着けさせる。

【思考力、判断力、表現力等】

地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて構想させる。考察・構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論させる。

【学びに向かう力、人間性等】

地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を育てる。多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めさせる。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】

地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	相当時数
A 地図でとらえる現代世界 (1) 地図と地理情報システム 【知識及び技能】 現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	1 大陸・海洋・州の確認 2 地球上の位置と時差 緯度と経度、時差の仕組みについて理解を深める。 3 地図の役割と種類 地球儀と地図の種類、主題図や一般図など身の回りの地図や統計地図の種類と利用について理解を深める。	【知識・技能】 さまざまな地図の読図ができ、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。現代世界のさまざまな情報を地図や地理情報システムなどを用いて、情報の収集、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	4
B 地図でとらえる現代世界 (2) 結びつきを強める現代世界 【知識及び技能】 現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 結びつきを強める現代世界について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	1 現代世界の国家と領域 国家の領域や国境はどのように定まっているのか、また、日本の位置や領域にはどのような特徴があるのかを学習する。 2 グローバル化する世界 グローバル化に伴い、貿易や交通、通信、観光など、世界の国々を結び付ける要素について学習する。	【知識・技能】 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きについて理解している。 【思考・判断・表現】 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	4
C 国際理解と国際協力 (1) 生活文化の多様性と国際理解 【知識及び技能】 世界の人の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。また、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の人の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	1 世界の地形と人々の生活 様々な地形の中で人々がどのように生活しているかについて学習する。 2 世界の気候と人々の生活 気候のしくみや気候が人々の生活に与える影響について学習する。 3 世界の言語・宗教と人々の生活 言語や宗教が民族の生活や文化に与える影響について学習する。 4 歴史的背景と人々の生活 各地域の歴史的背景が人々の生活や文化に与える影響について学習する。 5 世界の産業と人々の生活 自然環境と産業の関係やグローバル化する産業について学習する。	【知識・技能】 世界の人の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。世界の人の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 【思考・判断・表現】 世界の人の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	25

<p>D 国際理解と国際協力 (1) 地球的課題と国際協力</p> <p>【知識及び技能】 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解し、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指す各国の取組や国際協力が必要であることなどについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>1 複雑に絡み合う地球的課題 地球的課題の背景にある経済格差、地球的課題の解決に向けて学習する。</p> <p>2 地球環境問題 地球環境問題の種類、地球環境問題の背景について学習する。</p> <p>3 資源・エネルギー問題 エネルギーの種類と資源利用の変化、国によって異なる電力構成、鉱産資源の利用やエネルギーの生産と消費の不均衡、エネルギー問題の解決に向けて学習する。</p> <p>4 人口問題 世界の人口分布と人口増加の傾向、人口ピラミッドからみる国や地域人口の特徴について学習する。</p> <p>5 食糧問題 発展途上国の飢餓の問題、先進国に偏る食料の問題について学習する。</p> <p>6 都市・居住問題 都市の発達、大都市の形成と分布、都市内部の機能と構造について学習する。</p>	<p>【知識・技能】 世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	19
<p>E 持続可能な地域づくりと私たち (1) 自然環境と防災</p> <p>【知識及び技能】 我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解すること。</p> <p>様々な自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>1 日本の自然環境 日本の地形にはどのような特徴があり、どのようにして形成されたのか、また気候の特徴や地域差について学習する。</p> <p>2 地震・津波と防災 東日本大震災と防災の取り組み、阪神・淡路大震災と防災の取り組みについて学習する。</p> <p>3 火山災害と防災 火山の分布、火山の恵み、火山災害の特徴や火山災害に備えて学習する。</p> <p>4 気象災害と防災 地域で異なる気象災害、都市化による水害の変化について学習する。</p> <p>5 自然災害への備え 災害の被害を軽減するための取り組み、防災情報の活用、巨大地震への備えについてや被災地の自助・共助・公助、復旧・復興の取り組みを学習する。</p>	<p>【知識・技能】 我が国をはじめ世界でみられる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。</p> <p>さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	9
<p>F 持続可能な地域づくりと私たち (2) 生活圏の調査と地域の展望</p> <p>【知識及び技能】 生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取組や探究する手法などについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域への成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取組などを多面的・多角的に考察、構想し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>1 地理的な課題と地域調査 生活圏の地理的な課題を探究するための調査の方法について学習する。</p> <p>2 現地調査の準備 現地調査のための事前調査や調査計画の作成方法について学習する。</p> <p>3 現地調査の実施 効率的な現地調査のための準備や行動計画について考える。</p> <p>4 調査の分析と発表 調査結果の発表方法を考え、発表する。</p>	<p>【知識・技能】 生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取組や探究する手法などについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域への成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取組などを多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	9
						合計
						70

東京都立小台橋高等学校 年間授業計画 令和05年度

教科 **地理歴史** 科目 **歴史総合**

教科： 地理歴史 科目： 歴史総合 単位数： 2 単位

対象年次： 第 1・2・3・4年次

使用教科書・補助教材： 歴史総合（実教 歴総704）

教科 地理歴史

の目標：

【知識及び技能】

現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解させる。  
調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けさせる。

【思考力、判断力、表現力等】

地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて構想させる。考察・構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論させる。

【学びに向かう力、人間性等】

地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を育てる。多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めさせる。

科目 歴史総合

の目標：

【知識及び技能】

私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解する。資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。

【思考力、判断力、表現力等】

近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現する。複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現する。

【学びに向かう力、人間性等】

中学校社会科における学習の成果を生かし、必修科目である「歴史総合」を学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>第1章 近代化への胎動</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>17世紀を含めた18世紀とその前後の日本からみた東アジアの政治・経済と社会を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>18世紀とその前後の日本における経済活動の特徴、清などのアジア諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>日本と周辺地域との関係に着目して、主題を設定し、周辺地域の動向を比較したり、相互に関連付けて考察させる。</p>	<p>1. 江戸時代の日本と東アジア秩序の変動 江戸幕府と藩の支配体制や身分制度について学習する。</p> <p>2. 江戸時代の生産・流通と諸改革 田沼意次が行った商業に着目した政策について学習する。また寛政の改革が何をめざした政策だったのかについて学習する。</p> <p>3. 幕政の改革と東アジア世界 江戸幕府が国内と国外に抱えた問題点（内患外憂）について学習する。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>17世紀を含めた18世紀とその前後の日本やアジアにおける生産と流通、18世紀から19世紀にかけての日本・清などアジア諸国の政治・経済を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>17世紀を含めた18世紀とその前後の日本やアジアにおける生産・流通の変化に着目して、主題を設定し、東アジア諸地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、17世紀を含めた18世紀とその前後の日本やアジアにおける経済活動の特徴、清などアジア諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>17世紀を含めた18世紀とその前後の日本やアジアにおける生産と流通の歴史の変化に関わる諸事象について、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	○	○	○	6
<p>第2章 欧米の市民革命と「西洋の衝撃」</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>アヘン戦争やペリー来航をはじめアジアと欧米諸国の関係などを基に、18世紀とその前後の世界の政治と社会を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>18世紀とその前後の世界全体の経済活動の特徴、ヨーロッパ各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係、江戸幕府が崩壊していく関係などを多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>主題を設定し、ヨーロッパ諸国とその他の地域の動向を比較したり、アジアとの関係を相互に関連付けたりするなどして考察させる。</p>	<p>4. イギリス産業革命とアメリカ独立戦争 イギリスの産業革命とアメリカの独立戦争について学習する。</p> <p>5. フランス革命とウィーン体制 フランス革命とナポレオン戦争、ウィーン体制について学習する。</p> <p>6. アメリカ合衆国の発展とラテンアメリカの独立、独立後のアメリカ合衆国の発展とその過程で起きた南北戦争について学習する。</p> <p>7. オスマン帝国の衰退とロシア オスマン帝国の衰退過程およびロシアの改革と挫折について学習する。</p> <p>8. アヘン戦争の衝撃と日本の開国 アヘン戦争と日本の開国について学習する。</p> <p>9. 江戸幕府の滅亡 幕末の薩摩藩・長州藩の動き、大政奉還と王政復古について学習する。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>18世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸、オスマン帝国における政治、各地域間や清や日本などアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀とその前後の世界の経済と社会を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>18世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸、オスマン帝国のできごとや影響などに着目して、主題を設定し、世界各地の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸、東アジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>18世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸とアジアとの歴史の変化に関わる諸事象について、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	○	○	○	12
<p>第3章 欧米諸国と日本の国民国家形成</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>19世紀後半のヨーロッパの動きと日本の明治政府の政策、日本と欧米諸国の外交関係などを基に、19世紀後半のヨーロッパと日本との経済と社会を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>19世紀後半の欧米諸国の動向が日本に与えた影響などに着目して、19世紀後半の日本における経済活動の特徴、日本と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>主題を設定し、日本とその他の地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして考察させる。</p>	<p>10. イギリス・フランスの繁栄とイタリア・ドイツ統一</p> <p>19世紀後半のイギリス・フランス・イタリア・ドイツにおける政治上の動きについて学習する。</p> <p>1.1. 明治政府の諸改革 明治新政府が中央集権や富国強兵を勧めたためにおこなった政策について学習する。</p> <p>1.2. 日本のアジア外交と国境問題 日本の北方と南方の国境の問題や明治政府の台湾・琉球政策について学習する。</p> <p>1.3. 自由民権運動と大日本帝国憲法 明治政府の方針と自由民権運動との関</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>19世紀後半のヨーロッパや日本における政治、ヨーロッパ各地域間や日本と欧米諸国の関係などを基に、19世紀後半のヨーロッパと日本の政治と社会を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>19世紀後半の欧米諸国が日本に与えた影響などに着目して、主題を設定し、ヨーロッパ諸国とその他の地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、19世紀後半のヨーロッパにおける政治活動の特徴、ヨーロッパ各地域間の関係、日本と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>19世紀後半のヨーロッパの動きと日本との関連に関わる諸事象について、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	○	○	○	12

<p>第4章 帝国主義の時代</p> <p><b>【知識及び技能】</b></p> <p>19世紀から20世紀初頭にかけての欧米諸国の帝国主義の動き、日本と東アジアの関係、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の進出などを基に、19世紀から20世紀初頭にかけてのアジアの政治と社会を理解させる。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b></p> <p>19世紀から20世紀初頭にかけてのヨーロッパ諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b></p> <p>主題を設定し、アジア諸国とその他の地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、19世紀から20世紀初頭のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係について考察させる。</p>	<p>14. 帝国主義の時代へ 帝国主義による植民地主義が現在に及ぼしている影響について学習する。</p> <p>15. 朝鮮をめぐる国際関係と日清戦争 日清戦争の過程と台湾征服戦争について学習する。</p> <p>16. 日清戦争後の東アジア 清をとりまく国際情勢や清国の改革について学習する。</p> <p>17. 日露戦争と東アジアの変動 日露戦争の経緯と日本の韓国侵略について学習する。</p> <p>18. 日本の産業革命 日本の産業の発展、都市と農村の社会問題について学習する。</p>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <p>19世紀から20世紀初頭にかけてのアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、19世紀から20世紀初頭のアジアの経済と社会を理解している。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <p>19世紀から20世紀初頭にかけての欧米諸国の帝国主義が世界に与えた影響などに着目して、主題を設定し、ヨーロッパ諸国とその他の地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、19世紀から20世紀初頭の日本における政治の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <p>帝国主義や日本のアジア進出に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	○	○	○	12
<p>第5章 第一次世界大戦と大衆社会</p> <p><b>【知識及び技能】</b></p> <p>第一次世界大戦の展開とその後の国際協調体制を理解している。大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解させる。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b></p> <p>第一次世界大戦の推移とその後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b></p> <p>第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察させる。</p>	<p>19. 第一次世界大戦 第一次世界大戦の前提となる国際関係について学習する。</p> <p>20. ロシア革命とソ連の成立 ロシア革命が世界に与えた影響について学習する。</p> <p>21. 米騒動と大正デモクラシー 米騒動が起きた背景や原因、影響について学習する。</p> <p>22. ヴェルサイユ体制とワシントン体制 第一次世界大戦後の国際秩序とヴェルサイユ体制・ワシントン体制について学習する。</p> <p>23. アジアの民族運動 第一次世界大戦後、アジア各地で民族運動が活発になったことについて学習する。</p> <p>24. 第一次世界大戦後の欧米諸国 戦間期のヨーロッパの動き、とくにドイツのヴァイマル共和国について学習する。</p> <p>25. ひろがる社会運動と普通選挙の実現 日本での社会運動の広がり、男性普通選挙と治安維持法制定、協調外交と山東出兵について学習する。</p>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <p>第一次世界大戦の展開とその後の国際協調体制を理解している。大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <p>第一次世界大戦の推移とその後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <p>20世紀初頭から戦間期にかけての日本を中心に世界的な動きと関わる諸事象について、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	○	○	○	14
<p>第6章 経済危機と第二次世界大戦</p> <p><b>【知識及び技能】</b></p> <p>世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解している。第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解させる。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b></p> <p>経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b></p> <p>第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察させる。</p>	<p>26. 世界恐慌と各国の対応 世界恐慌が各国の経済や人々の生活にどのような影響を与えたかについて学習する。</p> <p>27. ファシズムの時代 ドイツとイタリアの対外進出と各国の対応について学習する。</p> <p>28. 満洲事変と軍部の対立 満洲事変と「満洲国」の成立、日本の孤立化について学習する。</p> <p>29. 日中戦争と戦時体制 日中戦争が国民に与えた影響や国際社会の反応について学習する。</p> <p>30. 第二次世界大戦の勃発 日本がアジア太平洋戦争を始めた理由やその後の国際関係構図の変化について学習する。</p> <p>31. 第二次世界大戦の終結 日本の降伏の過程を、連合軍の動きと日本政府の意図を中心に学習する。</p> <p>32. 国際連合の成立と冷戦 国際連合の成立と組織の内容について学習する。</p> <p>33. 日本占領と日本国憲法 GHQの政策と日本国憲法の制定について学習する。</p>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <p>世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解している。第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <p>経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <p>世界恐慌やナチス・ドイツ誕生の頃から第二次世界大戦の後の日本の独立回復までの日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	○	○	○	14
						合計
						70



東京都立小台橋高等学校 年間授業計画 令和05年度

教科 **数学** 科目 **数学 I**

教科： 数学 科目： 数学 I 単位数： 2 単位

対象年次： 第 1年次

使用教科書・補助教材： 新編数学 I (実教 数 I 707)  
新課程版 ラウンドノート 数学 I (実教出版)

教科 数学	の目標：
【知識及び技能】	各項目についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、身近な事柄を数学で表現・処理することができる。
【思考力、判断力、表現力等】	数や式を目的に応じて適切に変形したり、図形の性質や計量について論理的に考察し、表現できる。
【学びに向かう力、人間性等】	数学を日常生活に活用しようとしている。難問に対しても粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断したり、考察しようとしている。

科目 数学 I	の目標：	
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	記 時 数
A 単元 式の計算 式の見方を豊かにするとともに、整式の加法・減法・乗法、及び因数分解について理解を深め、公式などを利用して整式の展開や因数分解を能率よく計算できるようにする。	1. 整式とその加法・減法 2. 整式の乗法 3. 因数分解	【知識・技能】 式の展開と因数分解の相互の関係が分かる。 【思考・判断・表現】 乗法公式や因数分解の公式などを目的に応じて処理することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 式の展開や因数分解に関心をもち、目的に応じて式を変形しようとする。	○	○	○	8
B 単元 実数 数を実数まで拡張することの意義を理解し、実数の概念や平方根を含む計算の基本的な考え方について理解できるようにする。	1. 実数 2. 根号を含む式の計算	【知識・技能】 数を実数まで拡張することの意義を理解している。 【思考・判断・表現】 数を拡張してきた過程を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 数の体系を実数まで拡張する意義に気付くとともに、数を拡張していく過程に関心をもち、調べようとする。	○	○	○	6
定期考査			○	○		2
C 単元 1次不等式・集合と論証 ①不等式とその解の意味を理解し、1次不等式の解法に習熟させ、大小に関する身近な問題の解決に活用できるようにする。 ②集合の包含関係など、集合に関する基本的な事項を理解させ、具体的な事象について考察させる。	1. 不等号と不等式 2. 不等式の性質 3. 1次不等式 4. 集合 5. 命題と条件 6. 逆・裏・対偶	【知識・技能】 不等式の性質を理解し、不等式の解の意味や不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 1次不等式の解について、数直線と対比したり、いろいろな数値を代入したりして考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 数量の関係を不等式で表し、1次不等式を活用しようとする。	○	○	○	8
D 単元 2次関数とそのグラフ ①関数とそのグラフについて理解を深め、2次関数のグラフの概形を平行移動の考え方を活用して描けるようにする。 ②2次関数の最大・最小について理解を深め、最大値や最小値を求める具体的な問題の解決に活用できるようにする。	1. 関数とグラフ 2. 2次関数のグラフ 3. 2次関数の最大・最小 4. 2次関数の決定	【知識・技能】 定義域が限られた2次関数における最大値・最小値は、頂点を考慮して求めることを理解できる。 【思考・判断・表現】 座標平面上で、 $y = ax^2$ のグラフを平行移動していく過程を理解し、グラフをかくことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 関数関係を変化させる2つの量の関係としてとらえ、式やグラフに表すことに関心をもち、	○	○	○	8
定期考査			○	○		2
E 単元 2次方程式と2次不等式 2次関数のグラフを利用して2次方程式や2次不等式の解について理解を深め、2次不等式の解法に習熟させる。	1. 2次関数のグラフと2次方程式 2. 2次関数のグラフと2次不等式	【知識・技能】 $y = ax^2 + bx + c$ のグラフとx軸との共有点の個数は、判別式の符号によって分類されることを理解している。 【思考・判断・表現】 2次不等式の解を2次関数のグラフを用いて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 2次関数のグラフとx軸との位置関係について調べて、2次不等式の解のタイプに関心をもち、	○	○	○	8
F 単元 三角比 三角比(正接・正弦・余弦)の概念を導入し、鈍角までの三角比の相互関係などについて理解の深化を図る。	1. 三角比 2. 三角比の性質 3. 三角比の拡張	【知識・技能】 三角比の相互関係について理解し、基礎的な知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 座標平面上の半円を用いて、鈍角まで拡張した三角比について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 鈍角の三角比を考えることに関心をもち、鋭角の三角比との関係について考察しようとする。	○	○	○	8
定期考査			○	○		2
G 単元 三角比と図形の計量 三角比についての理解を深め、線分や辺の長さに関する身近な問題の解決に活用できるようにする。	1. 正弦定理 2. 余弦定理 3. 三角形の面積 4. 空間図形の計量	【知識・技能】 三角比を用いた平面図形や空間図形の計量に関する知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 三角比や正弦定理・余弦定理などを用いて平面図形や空間図形を計量することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 三角比を用いて三角形の面積や空間図形の計量に活用しようとする。	○	○	○	8
H 単元 データの分析・データの整理 ①中学校で学習した平均値・最頻値・中央値・四分位数・箱ひげ図について復習し、データの散らばりのようすをとらえる概念として、整理し、理解させる。 ②データの散らばりのようすをとらえる概念として、分散、標準偏差について理解させる。	1. 度数分布 2. 代表値 3. 四分位数と四分位範囲 4. 分散と標準偏差 5. データの相関 6. データの外れ値 7. 仮説検定の考え方	【知識・技能】 分散、及び標準偏差などの用語や散布図や相関係数の意味を理解している。 【思考・判断・表現】 整理した表、図、値などの意味を理解し、そのデータの特性や法則性を的確にとらえることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 データから適切な代表値を得て、散らばり具合を整理し全体の傾向をつかもうとする。	○	○	○	8
定期考査			○	○		2
						合計
			○	○		70

東京都立小台橋高等学校 年間授業計画 令和05年度

教科 **理科** 科目 **科学と人間生活**

教科：理科 科目：科学と人間生活 単位数：2 単位

対象年次：第 1・2・3・4年次

使用教科書・補助教材：高等学校 科学と人間生活（第一 科人705）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 科学と人間生活 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然の事物・現象についての観察、実験などを行うことを通して、自然の事物・現象に対する概念や原理・法則の理解を図るとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈するなどの活動を行う	自然の事物・現象に進んで関わり、主体的に探究しようとする態度を育てる

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	評価			配当 時数
			知	思	態	
顕微鏡の各部位の名称と構造理解 基本的操作の習得抽出・濾過による物質分離法の理解と習熟 紫外線、蛍光剤の特性理解 気象観測の理解 顕微鏡の基本操作の実践とプレパラートの作成の習熟 ペーパークロマトグラフィーによる物質分離法の理解と習熟	顕微鏡の使い方 ろ過、蛍光、紫外線 簡易湿度計の作成 水中の微生物 光合成色素 光合成色素の分離	発言分析 記述分析 行動観察	○	○	○	14
定期考査		記述分析	○			2
光の波長による性質(分散・屈折)の理解 アルキメデス・パスカルの原理の理解 物質循環の理解 動物の行動観察とデータ収集法の理解 物質の三態	光と波長 CD分光器の作成 浮沈子の作成 ダンゴムシの生態 ダンゴムシの行動観察液体窒素の性質	発言分析 記述分析 行動観察	○	○	○	14
定期考査		記述分析	○			2
振動と楽器(管楽器)について 振動と楽器(弦楽器)について 高分子化合物の理解 静止摩擦力和動摩擦力 種子の構造と拡散法の理解 飛行原理と機体制御理解 角運動量保存法則の理解	ストロー・紙コップでつくる管楽器 輪ゴムギター・手作りギターの作成 スライムの作成 ホバークラフト・指ハブの作成 風散布型種子模型の作成 飛行機の歴史・飛行原理 フライヤー号の製作 回転運動 飛行リング・竹とんぼの作成	発言分析 記述分析 行動観察	○	○	○	18
定期考査		記述分析	○			2
放射線の理解 燃焼現象理解 落下運動とたこの飛行原理の理解 錯覚についての理解 気体の密度と気象変化の理解 化石について 原子の構造の理解	身の回りの放射線測定 カラーキャンドルの作成 一反木綿型たこの作成 ペンハムのコマ・ストロボスコープの作成 熱気球の作成 アンモナイト・三葉虫の化石レプリカの作成 静電気を利用した現象の体験	発言分析 記述分析 行動観察	○	○	○	16
定期考査		記述分析	○			2
合計						70

東京都立小台橋高等学校 年間授業計画 令和05年度

教科 **理科** 科目 **物理基礎**

教科：理科 科目：物理基礎 単位数：2 単位

対象年次：第 1・2・3・4年次

使用教科書・補助教材：新編物理基礎（東書 物基702）

教科	理科	の目標：
【知識及び技能】	観察、実験などを通して自然現象を理解しているとともに、それらの観察、実験の基本操作や記録などの技術を身に付けている。	
【思考力、判断力、表現力等】	自然現象を数式やグラフで定量的にまとめたり、言葉で定性的に説明することができる。	
【学びに向かう力、人間性等】	自然現象の表し方に主体的に関わり、見直しをもちったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。	

科目	物理基礎	の目標：	
【知識及び技能】	観察、実験などを通して物理現象を理解しているとともに、それらの観察、実験の基本操作や記録などの技術を身に付けている。	【思考力、判断力、表現力等】 物理現象を数式やグラフで定量的にまとめたり、言葉で定性的に説明することができる。	【学びに向かう力、人間性等】 物理現象の表し方に主体的に関わり、見直しをもちったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1－1章 直線運動の世界 ・運動の表し方についての観察、実験などを通して、物理量の測定と扱い方、運動の表し方、直線運動の加速度について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・運動の表し方について、問題を見だし見直しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。 ・運動の表し方に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探求しようとする態度を養う。	合成速度・相対速度 等速直線運動 等加速度直線運動	【知識・技能】 運動の表し方についての観察、実験などを通して、物理量の測定と扱い方、運動の表し方、直線運動の加速度について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 運動の表し方について、問題を見だし見直しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 運動の表し方に関する事物・現象に主体的に関わり、見直しをもちったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	14
1－2章 力と運動の法則 ・さまざまな力とそのはたらきについての観察、実験などを通して、さまざまな力、力のつり合い、運動の法則、物体の落下運動について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・さまざまな力とそのはたらきについて、問題を見だし見直しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。 ・さまざまな力とそのはたらきに関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	様々な力 力のつり合い 力の合成と分解 運動の三法則	【知識・技能】 さまざまな力とそのはたらきについての観察、実験などを通して、さまざまな力、力のつり合い、運動の法則、物体の落下運動について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 さまざまな力とそのはたらきについて、問題を見だし見直しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな力とそのはたらきに関する事物・現象に主体的に関わり、見直しをもちったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	14
1－3章 力学的エネルギー ・力学的エネルギーについての観察、実験などを通して、運動エネルギーと位置エネルギー、力学的エネルギーの保存について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・力学的エネルギーについて、問題を見だし見直しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。 ・力学的エネルギーに関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探求しようとする態度を養う。	仕事 運動エネルギー 位置エネルギー 力学的エネルギー保存則	【知識・技能】 力学的エネルギーについての観察、実験などを通して、運動エネルギーと位置エネルギー、力学的エネルギーの保存について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 力学的エネルギーについて、問題を見だし見直しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 力学的エネルギーに関する事物・現象に主体的に関わり、見直しをもちったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	8
2－1章 熱 ・熱についての観察、実験などを通して、熱と温度、熱の利用について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・熱について、問題を見だし見直しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。 ・熱に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探求しようとする態度を養う。	熱と温度の違い 熱量保存則 熱力学第一法則	【知識・技能】 熱についての観察、実験などを通して、熱と温度、熱の利用について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 熱について、問題を見だし見直しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 熱に関する事物・現象に主体的に関わり、見直しをもちったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	10
2－2章 波 ・波についての観察、実験などを通して、波の性質、音と振動について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・波について、問題を見だし見直しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。 ・波に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探求しようとする態度を養う。	波の性質 進行波と定常波 音波（弦の振動、気柱の共鳴含む）	【知識・技能】 波についての観察、実験などを通して、波の性質、音と振動について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 波について、問題を見だし見直しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 波に関する事物・現象に主体的に関わり、見直しをもちったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	12

<p>2-3章 電気</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気についての観察, 実験などを通して, 物質と電気抵抗, 電気の利用について理解するとともに, それらの観察, 実験などに関する技能を身に付ける。</li> <li>・電気について, 問題を見だし見通しをもって観察, 実験などを行い, 科学的に考察し表現する。</li> <li>・電気に関する事物・現象に主体的に関わり, 科学的に探究しようとする態度を養う。</li> </ul>	<p>静電気 オームの法則 電流と磁場 交流の仕組み</p>	<p>【知識・技能】 電気についての観察, 実験などを通して, 物質と電気抵抗, 電気の利用について理解しているとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 電気について, 問題を見だし見通しをもって観察, 実験などを行い, 科学的に考察し表現しているなど, 科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 電気に関する事物・現象に主体的に関わり, 見通しをもったり振り返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	12	
							合計
							70

東京都立小台橋高等学校 年間授業計画 令和05年度

教科 **理科** 科目 **化学基礎**

教科：理科 科目：化学基礎 単位数：2 単位

対象年次：第 1・2・3・4年次

使用教科書・補助教材：新編化学基礎（東書 化基702）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	記 時 数
A 単元 物質の成分と構成元素 【知識及び技能】 化学と物質について、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態の事を理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 化学と物質について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・物質の成分 ・物質の構成元素 ・物質の三態	【知識・技能】 化学と物質についての実験などを通して、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 化学の特徴、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	12
B 単元 原子の構造と元素の周期表 【知識及び技能】 物質の構成粒子について、原子の構造、電子配置と周期表の事を理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の構成粒子について、観察・実験を通して探究し、原子の構造、電子配置と周期表について見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 原子の構造、電子配置と周期表に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・原子の構造 ・電子配置と周期表	【知識・技能】 物質の構成粒子についての実験などを通して、原子の構造、電子配置と周期表の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 原子の構造、電子配置と周期表について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 原子の構造、電子配置と周期表に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	6
定期考査			○	○	○	2
C 単元 化学結合 【知識及び技能】 物質と化学結合について、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合の事を理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 物質と化学結合について、観察・実験などを通して探究し、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合について見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 物質と化学結合に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・イオンとイオン結合 ・分子と共有結合 ・金属と金属結合 ・化学結合と物質の分類	【知識・技能】 物質と化学結合についての実験などを通して、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	16
定期考査			○	○	○	2
D 単元 物質と化学反応式 【知識及び技能】 物質と化学反応式についての実験などを通して、物質、化学反応式の事を理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 物質と化学反応式について、観察・実験などを通して探究し、物質、化学反応式を見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 物質、化学反応式に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・原子量・分子量・式量 ・物質質量 ・溶液の濃度 ・化学反応の表し方 ・化学反応式の表す量的関係	【知識・技能】 物質と化学反応式についての実験などを通して、物質、化学反応式の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 物質、化学反応式について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質、化学反応式について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	14
定期考査			○	○	○	2

<p>E 単元 酸と塩基</p> <p><b>【知識及び技能】</b>          化学反応についての実験などを通して、酸・塩基と中和のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b>          化学反応について、観察・実験などを通して探究し、酸・塩基と中和を見出して表現する。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b>          酸・塩基と中和に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酸と塩基</li> <li>・水素イオン濃度とpH</li> <li>・中和反応と塩の生成</li> <li>・中和滴定</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b>          化学反応についての実験などを通して、酸・塩基と中和の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b>          酸・塩基と中和について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b>          酸・塩基と中和について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	14	
定期考査			○	○	○	2	70

東京都立小台橋高等学校 年間授業計画 令和05年度

教科 **理科** 科目 **生物基礎**

教科：理科 科目：生物基礎 単位数：2 単位

対象年次：第 1・2・3・4年次

使用教科書・補助教材：新編生物基礎（東書 生基702）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物や生物現象について理解し、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いている。	理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行い、科学的に探究すると共に実験データの分析・解釈などを報告書により表現できる。	生物や生物現象に主体的に関わり科学的に探究し、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与ようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	記 時 数
A 生物の特徴 【知識及び技能】 生物の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の特徴について、観察、実験などを通して探究する。 【学びに向かう力、人間性等】 生物の特徴に関する事物・現象に主体的にかかわり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・生物の多様性と共通性 ・細胞の特徴 ・生体とATP ・酵素の働き ・呼吸と光合成	【知識・技能】 生物の特徴について、生物の共通性と多様性の基本的な概念や原理・法則などを理解していると共に、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生物の共通性と多様性について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物の共通性と多様性に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	14
定期考査①		記述分析	○	○	○	2
B 遺伝子とそのはたらき 【知識及び技能】 遺伝子とそのはたらきについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 遺伝子とそのはたらきについて、観察、実験などを通して探究する。 【学びに向かう力、人間性等】 遺伝子とそのはたらきに関する事物・現象に主体的にかかわり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・生物と遺伝子 ・DNAの構造 ・DNAの複製と分配 ・タンパク質 ・タンパク質と遺伝情報 ・細胞の分化と遺伝子	【知識・技能】 遺伝子とそのはたらきについて、遺伝情報とDNAの基本的な概念や原理・法則などを理解していると共に、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 遺伝情報とDNAについて、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝情報とDNAに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	16
定期考査②		記述分析	○	○	○	2
C ヒトの体の調節 【知識及び技能】 ヒトの体の調節について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ヒトの体の調節に関する観察、実験などを通して探究する。 【学びに向かう力、人間性等】 情報の伝達や免疫のはたらきに関する事物・現象に主体的にかかわり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・体内環境 ・神経系による情報伝達 ・内分泌系による情報伝達 ・血糖濃度の調整 ・免疫のしくみ ・免疫の応用、免疫疾患	【知識・技能】 ヒトの体の調節について、情報の伝達や免疫の働きの基本的な概念や原理・法則などを理解していると共に、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 情報の伝達、免疫の働きについて、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報の伝達、免疫の働きに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	24
定期考査③		記述分析	○	○	○	2
D 生物の多様性と生態系 【知識及び技能】 生物の多様性と生態系について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の多様性と生態系について、観察、実験などを通して探究する。 【学びに向かう力、人間性等】 生物の多様性と生態系に関する事物・現象に主体的にかかわり、科学的に探究しようとする態度と自然環境の保全に寄与する態度を養う。	・身のまわりの植生 ・植生の遷移 ・遷移とバイオーム ・生態系における生物の多様性 ・生態系における生物間の関係 ・生態系と人為的攪乱 ・生態系の保全	【知識・技能】 生態系とその保全について、生態系と生物の多様性、ならびに生態系のバランスと保全の基本的な概念や原理・法則などを理解していると共に、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生態系と生物の多様性、ならびに生態系のバランスと保全について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生態系と生物の多様性、ならびに生態系のバランスと保全に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	8
定期考査④		記述分析				2
						合計
						70

東京都立小台橋高等学校 年間授業計画 令和05年度

教科 **理科** 科目 **地学基礎**

教科：理科 科目：地学基礎 単位数：2 単位

対象年次：第 2・3・4年次

使用教科書・補助教材：地学基礎（東書 地基701）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 地学基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	地球や地球を取り巻く環境に関係する観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と自然環境の保全に寄与する態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	記 時 数
A 私たちの大地 【知識及び技能】 惑星としての地球について理解するとともに、それらの観察・実習などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 活動する地球について、課題を見だし実習などを行い、科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 活動する地球に関する事物、現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・地球の形と大きさ ・地球の構造と地球内部の動き ・大地形の形成 ・変成岩と変成作用 ・火山噴火の多様性 ・火山が出来る場所・火成岩 ・地震の発生と地質構造 ・地震が起こる場所	【知識・技能】 惑星としての地球、活動する地球についての観察・実習などを通して、基本的な概念や原理・法則などについて理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実習などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 惑星としての地球、活動する地球について、問題を見だし見通しをもって観察・実習などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 惑星としての地球、活動する地球について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	16
定期考査①		記述分析	○	○	○	2
B 私たちの空と海 【知識及び技能】 大気と海洋について理解するとともに、それらの観察・実習などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 大気と海洋について、課題を見だし見通しをもって実習などを行い、科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 大気と海洋に関する事物、現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・地球大気構造 ・地球の熱収支 ・大気の大循環 ・海水とその運動	【知識・技能】 大気と海洋についての観察・実習などを通して、基本的な概念や原理・法則などについて理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実習などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 大気と海洋について、問題を見だし見通しをもって観察・実習などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 大気と海洋について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	12
定期考査②		記述分析	○	○	○	2
C 私たちの宇宙の誕生 【知識及び技能】 地球の変遷について理解するとともに、それらの観察・実習などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 宇宙、太陽系と地球の誕生について、課題を見だし見通しをもって実習などを行い、科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 宇宙、太陽系と地球の誕生に関する事物、現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・宇宙の誕生と宇宙の姿 ・太陽系の誕生 ・太陽系の構成 ・太陽の特徴 ・地球の特徴	【知識・技能】 宇宙、太陽系と地球の誕生についての観察・実習などを通して、宇宙、太陽系と地球の誕生について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実習などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 宇宙、太陽系と地球の誕生について、問題を見だし見通しをもって観察・実習などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 宇宙、太陽系と地球の誕生について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	12
定期考査③		記述分析	○	○	○	2
D 私たちの地球の歴史 【知識及び技能】 地球の変遷について理解するとともに、それらの観察・実習などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 地球の変遷について、課題を見だし見通しをもって実習などを行い、科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 地球の変遷に関する事物、現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・地層の形成 ・地球の誕生と先カンブリア時代 ・古生代 ・中生代 ・新生代 ・人類の進化 ・地球環境の変化による生物の変遷	【知識・技能】 地球の変遷についての観察・実習などを通して、基本的な概念や原理・法則などについて理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実習などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 地球の変遷について、問題を見だし見通しをもって観察・実習などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地球の変遷について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	10



<p>F 地球に生きる私たち</p> <p><b>【知識及び技能】</b> 地球の環境について理解するとともに、それらの観察・実習などに関する技能を身に付ける。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 地球規模の自然環境に関する資料に基づいて、地球環境の変化を見だし、その仕組みを科学的に考察し表現する。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 地球環境の科学に関する事物、現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の自然の恵み</li> <li>・気象災害と防災</li> <li>・地震・火山による災害と防災</li> <li>・地球環境の考え方</li> <li>・自然環境の変動</li> <li>・これからの地球環境</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b> 地球環境の科学についての観察・実習などを通して、宇宙、太陽系と地球の誕生について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察・実習などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> 地球環境の科学について、問題を見だしその仕組みを科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 地球環境の科学について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	12
定期考査④		記述分析	○	○	○	2
						合計
						70

東京都立小台橋高等学校 年間授業計画 令和05年度

教科 **保健体育** 科目 **体育A**

教科：保健体育

科目：体育A

単位数： 2 単位

対象年次：第 1年次

使用教科書・補助教材： 現代高等保健体育（大修館 保体701）

教科 保健体育

の目標：

【知識及び技能】

健康の保持増進と体力の向上を図る。

【思考力、判断力、表現力等】

生涯を通じて継続的に運動できる資質や能力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】

集団での活動の実践から公正・協力・責任などの態度を培う。

科目 体育A

の目標：

【知識及び技能】

生涯にわたって運動を楽しむための効果的な学習の仕方について理解するとともに、それらの技能が身に付いている。

【思考力、判断力、表現力等】

課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断することができるとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができている。

【学びに向かう力、人間性等】

運動における競争や協働の経験を通して、公正、協力、責任、参画、共生を大切にしようとする態度が身に付いている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
			知	思	態	
<b>A 体づくり運動</b> <b>【知識及び技能】</b> 心と体の健康や体力の保持増進につながることや、生活の質を高めることにもつながることを理解できる。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 自己や仲間の課題を発見し、解決に向けて運動の取り組み方を工夫することができる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 自主的に取り組むとともに、互いに教え合うことができる。	・ベアストレッチ ・バランス運動 ・用具を操作する運動 ・体力を高める運動	<b>【知識・技能】</b> ・体力の保持増進について理解し運動に取り組むことができている。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・状況や場に応じて、運動の取り組み方を工夫することができる。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・仲間と協力して取り組むことができている。	○	○	○	10
<b>B 陸上競技</b> <b>【知識及び技能】</b> 合理的なフォームを身に付け、スピードを落とさず走る事ができる。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 陸上競技の特性を踏まえて、課題を発見することができる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 自主的に取り組むとともに、健康、安全を確保することができる。	・ハードル走 ・リレー	<b>【知識・技能】</b> ・自分に合ったハードリングを身に付けることができている。 ・高いスピードを維持して、バトンパスを行うことができている。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・課題解決に向けて、練習方法を工夫することができる。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・安全を確保し練習に取り組むことができている。	○	○	○	24
<b>C 球技</b> <b>【知識及び技能】</b> 作戦に応じた技能で、ゲームを展開することができる。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 課題を発見し、合理的な解決に向けて工夫することができる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 一人一人の違いに応じたプレイを大切にすることができる。	・アルティメット ・ゴルフ ・バスケットボール	<b>【知識・技能】</b> ・種目の特性に応じた体の動かし方を理解し取り組むことができている。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・攻防やボール操作の課題を発見することができる。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・自ら進んで、練習計画や作戦を立てようとしている。	○	○	○	30
<b>D 体育理論</b> <b>【知識及び技能】</b> スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展について理解する。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> スポーツが環境や社会にもたらす影響について習得した知識を生かして思考することができる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むことができる。	・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展	<b>【知識・技能】</b> ・スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展について理解することができる。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・スポーツの意義や価値について、事実や理念を整理し課題を発見することができる。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・自ら進んで意見交換を行うことができている。	○	○	○	6
						合計
						70

東京都立小台橋高等学校 年間授業計画 令和05年度

教科 保健体育 科目 体育B

教科：保健体育

科目：体育B

単位数： 1 単位

対象年次：第 2年次

使用教科書・補助教材： 現代高等保健体育（大修館 保体701）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】	健康の保持増進と体力の向上を図る。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯を通じて継続的に運動できる資質や能力を身に付ける。
【学びに向かう力、人間性等】	集団での活動の実践から公正・協力・責任などの態度を培う。

科目 体育B の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の原則、交流や発表の仕方、伝統的な考え方を理解する。	自己や仲間の課題や練習方法について伝える。 よりよいマナーや行為について自己の活動を振り返る。	よい演技、プレーを称賛するとともに、相手を尊重し伝統的な行動の仕方を大切にしようとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 体づくり運動 【知識及び技能】 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 話し合いに貢献し、健康、安全を確保することができる。	・ベアストレッチ ・バランス運動 ・用具を操作する運動 ・体力を高める運動	【知識・技能】 ・体の構造などを理解し、運動に取り組むことができている。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の考えたことを、他者に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・話し合い活動に積極的に参加している。	○	○	○	7
B ダンス 【知識及び技能】 リズムや音楽に合わせて、パターンや動きの連続を構成することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマに応じた表現の仕方を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 表現や役割を大切にすることができる。	・創作ダンス ・現代的なリズムのダンス	【知識・技能】 ・テーマを見る人に伝わりやすく表現することができる。 【思考・判断・表現】 ・仲間とともに、ダンスを楽しむための方法や修正の仕方を見付けることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ダンスの学習に自主的に取り組むことができている。	○	○	○	10
C 球技 【知識及び技能】 ・各種目に用いられる技術や名称を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の考えを取り入れ、運動の仕方を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・フェアプレイを大切にすることができる。	・ポッチャ ・モルック ・シッティングバレー	【知識・技能】 ・作戦に応じた技能を活用することができる。 【思考・判断・表現】 ・自分の考えを他者に分かりやすく伝えようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・相手や仲間を尊重しゲームを楽しむことができている。	○	○	○	9
D 武道 【知識及び技能】 武道を学習することは、自国の文化に誇りをもち、国際社会で生きていくうえで有意義であることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 運動を継続して楽しむためのかわり方を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 伝統的な行動の仕方を大切にすることができる。	・柔道	【知識・技能】 ・伝統的な文化を理解し、基本動作を行うことができている。 【思考・判断・表現】 ・選択した運動に、必要な準備運動、補助運動を選ぶことができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・相手を尊重し、課題に挑戦しようとしている。	○	○	○	9
						合計
						35

東京都立小台橋高等学校 年間授業計画 令和05年度

教科 **保健体育** 科目 **体育C**

教科：保健体育

科目：体育C

単位数： 2 単位

対象年次：第 2年次

使用教科書・補助教材： 本校作成テキスト

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】	健康の保持増進と体力の向上を図る。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯を通じて継続的に運動できる資質や能力を身に付ける。
【学びに向かう力、人間性等】	集団での活動の実践から公正・協力・責任などの態度を培う。

科目 体育C の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ルールや技術の名称を理解し、簡易的な試合を行うことができる。	体調や環境に応じた適切な練習方法などについて振り返り、合意形成をするための関わり方を見付け伝えることができる。	勝敗などを受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	評価				配当 時数
			知	思	態		
A 体づくり運動 【知識及び技能】 健康の保持増進や体力の向上を目指し、運動計画を立てることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 合理的な課題解決に向けて、知識を活用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 違いに応じた配慮の仕方があることを理解し取り組むことができる。	・ベアストレッチ ・バランス運動 ・用具を操作する運動 ・体力を高める運動	【知識・技能】 ・運動計画を立て、実施することができる。 【思考・判断・表現】 ・課題解決に向けて適切な方法を選択することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・違いに配慮し、主体的に取り組むことができる。	○	○	○	8	
B 陸上競技 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさを味わい、種目特有の技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 合理的な課題解決に向けて、運動の取り組み方を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にすることができる。	・短距離走 ・長距離走	【知識・技能】 ・中間走へのつなぎを滑らかにし速く走ることができる。 ・自己に適したペースを維持して走ることができる。 【思考・判断・表現】 ・課題解決に向けて適切な方法を選択することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ルールやマナーを大切にしながら取り組むことができる。	○	○	○	16	
C 球技 【知識及び技能】 安定したボール、用具の操作からの攻防ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 課題に応じた作戦や戦術を立てることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 仲間と協力し、試合を行うことができる。	・テニス ・サッカー ・ハンドボール ・バドミントン	【知識・技能】 ・安定したボール操作を行うことができる。 ・用具の操作と運動した動きができる。 【思考・判断・表現】 ・自己やチームの課題を発見し、取り組み方を工夫することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・仲間と協力し、取り組むことができる。	○	○	○	40	
D 体育理論 【知識及び技能】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 よりよい課題解決に向けて、思考することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 運動やスポーツに主体的に取り組む態度を養う。	・運動やスポーツの効果的な学習の仕方	【知識・技能】 ・効果的な学習方法、練習方法を理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・課題解決に向けた自身の考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・課題を解決するために、自ら進んで取り組むことができる。	○	○	○	6	
						合計	
						70	

東京都立小台橋高等学校 年間授業計画 令和05年度

教科 **保健体育** 科目 **保健A**

教科：保健体育 科目：保健A 単位数：1 単位

対象年次：第1年次

使用教科書・補助教材：現代高等保健体育（大修館 保体701）

教科	保健体育	の目標：
【知識及び技能】	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	
【思考力、判断力、表現力等】	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	
【学びに向かう力、人間性等】	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	

科目	保健A	の目標：			
【知識及び技能】	国民の健康課題について考え、健康の考え方と成り立ち、健康の保持増進のための適切な意思決定や行動選択と環境づくりについて理解することができるようにする。	【思考力、判断力、表現力等】	現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。	【学びに向かう力、人間性等】	現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決を思考し判断するとともに、それらを表現する態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 単元 【知識及び技能】 現代社会と健康に関しては、健康の考え方、現代の感染症とその予防、生活習慣病などの予防と回復、喫煙・飲酒・薬物の乱用と健康、精神疾患の予防と回復についての理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する態度を養う。	現代社会と健康 ・健康の考え方と成り立ち ・私たちの健康のすがた ・生活習慣病の予防と回復 ・がんの原因と予防 ・がんの治療と回復 ・運動と健康 ・食事と健康 ・休養・睡眠と健康 ・喫煙と健康 ・薬物乱用と健康 ・精神疾患の特徴 ・精神疾患の予防 ・精神疾患からの回復 ・現代の感染症 ・感染症の予防 ・性感染症・エイズとその予防 ・健康に関する意思決定・行動選択 ・健康に関する環境づくり	【知識及び技能】 現代社会と健康に関しては、健康の考え方、現代の感染症とその予防、生活習慣病などの予防と回復、喫煙・飲酒・薬物の乱用と健康、精神疾患の予防と回復についての理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する態度を養うことができる。	○	○	○	25
B 単元 【知識及び技能】 安全な社会づくりに関しては、事故の現状と発生要因や安全な社会の形成の仕方、交通安全について理解することができるようにする。 応急手当に関しては、応急手当の意義、日常的な応急手当、心肺蘇生法について理解することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会生活に関わる事象や情報から発見し、自他や社会の危険の予測を基に、危険を回避したり、傷害の悪化を防止したりする方法を選択肢、安全な社会の実現に向けてそれらを説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現する態度を養う。	安全な社会生活 ・自己の現状と発生要因 ・安全な社会の形成 ・交通における安全 ・応急手当の意義とその基本	【知識及び技能】 安全な社会づくりに関しては、事故の現状と発生要因や安全な社会の形成の仕方、交通安全について理解することができる。 応急手当に関しては、応急手当の意義、日常的な応急手当、心肺蘇生法について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会生活に関わる事象や情報から発見し、自他や社会の危険の予測を基に、危険を回避したり、傷害の悪化を防止したりする方法を選択肢、安全な社会の実現に向けてそれらを説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現する態度を養うことができる。	○	○	○	10
合計						35

東京都立小台橋高等学校 年間授業計画 令和05年度

教科 **保健体育** 科目 **保健B**

教科：保健体育

科目：保健B

単位数： 1 単位

対象年次：第 2年次

使用教科書・補助教材： 現代高等保健体育（大修館 保体701）

教科 保健体育

の目標：

【知識及び技能】

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健B

の目標：

【知識及び技能】

生涯を通じる健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

生涯を通じる健康に関する事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	記 時 数
<b>A 単元</b> <b>【知識及び技能】</b> 安全な社会づくりと応急手当について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して理解を深めることができるようにする。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目し判断するとともに、それらを表現できるようにする。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 生涯を通じる健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができる態度を養う。	生涯を通じる健康 ・ライフステージと健康 ・思春期と健康 ・性意識と性行動の選択 ・妊娠・出産と健康 ・避妊法と人工中絶 ・結婚生活と健康 ・中高年期と健康 ・働くことと健康 ・労働災害と健康 ・健康的な職業生活	<b>【知識及び技能】</b> 安全な社会づくりと応急手当について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して理解を深めることができる。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目し判断するとともに、それらを表現できる。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 生涯を通じる健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができる態度を養う。	○	○	○	20
<b>B 単元</b> <b>【知識及び技能】</b> 生涯の各段階における健康、労働災害と健康について課題を発見し、その解決を目指した活動を通して理解を深めることができるようにする。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現できるようにする。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 生涯を通じる健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができる態度を養う。	健康を支える環境づくり ・大気汚染と健康 ・水質汚濁、土壌汚染と健康 ・環境と健康にかかわる対策 ・ごみの処理と上下水道の整備 ・食品の安全性 ・食品衛生にかかわる活動 ・保健サービスとその活用 ・医療サービスとその活用 ・医薬品の整備とその活用 ・さまざまな保健活動や社会的対策 ・健康に関する環境づくりと社会参加	<b>【知識及び技能】</b> 生涯の各段階における健康、労働災害と健康について課題を発見し、その解決を目指した活動を通して理解を深めることができる。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現できる。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 生涯を通じる健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができる態度を養うことができる。	○	○	○	15
<b>合計</b>						35

東京都立小台橋高等学校 年間授業計画 令和05年度

教科 **芸術** 科目 **音楽 I**

教科：芸術 科目：音楽 I 単位数：2 単位

対象年次：第 1 年次

使用教科書・補助教材：MOUSA 1 (教芸 音 I 7 0 3)

教科	芸術	の目標：
【知識及び技能】	創意工夫を生かした表現をするために必要な技能が身に付いている。	
【思考力、判断力、表現力等】	作品を通じて、表現の意図や工夫に気づき、美しさなどを認め、表現に活かすことができる。	
【学びに向かう力、人間性等】	主体的に幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、芸術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度が身に付いている。	

科目	音楽 I	の目標：
【知識及び技能】	曲想や音楽の多様性について理解しているとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能が身に付いている。	自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。
【思考力、判断力、表現力等】		
【学びに向かう力、人間性等】		

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (教材や一人1台端末を活用しながら、主に以下の内容について指導する。)	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数
		歌	器	創						
A 単元：歌唱 【知識及び技能】 曲想や音楽の多様性について理解しているとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な発声が身に付いている。 【思考力、判断力、表現力等】 自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に歌唱活動に取り組み、意欲的に練習していく態度が身に付いている。	・校歌 ・歌唱 (季節の歌、ミュージカル曲、歌曲、現代曲他)	○	○	○	【知識・技能】 曲想について理解しているとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能が身に付いている。 【思考・判断・表現】 自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽に親しむために、感性を高め、音楽によって生活や社会を豊かにしていく態度が身に付いている。	○	○	○	8	
B 単元：楽典基礎 【知識及び技能】 楽典の基礎を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 正しい知識で楽譜を読むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 楽典について、音楽理論の重要性を認識し積極的に活用しようとする態度等を身に付ける。	・楽典基礎 (音名、音符、休符、他)	○	○	○	【知識・技能】 音楽の多様性について理解しているとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な知識が身に付いている。 【思考・判断・表現】 楽譜の情報を正しく理解し、正確に表現しようとするができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽に親しむために、感性を高め、音楽によって生活や社会を豊かにしていく態度が身に付いている。	○	○	○	11	
C 単元：器楽 (ピアノ・キーボード) 【知識及び技能】 楽器の知識や、正しい楽器の演奏方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 簡易な曲を自主的に演奏することができる力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 楽器の特徴について、積極的に理解し、習得しようとする。	・器楽鍵盤楽器 (ピアノ・キーボード)	○	○	○	【知識・技能】 曲想について理解しているとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能が身に付いている。 【思考・判断・表現】 自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽に親しむために、感性を高め、音楽によって生活や社会を豊かにしていく態度が身に付いている。	○	○	○	20	
D 単元：器楽 (ギター・三線) 【知識及び技能】 楽器の知識や、正しい楽器の演奏方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 簡易な曲を自主的に演奏することができる力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 楽器の特徴について、積極的に理解し、習得しようとする。	・器楽、弦楽器 (ギター、三線)	○	○	○	【知識・技能】 楽器について扱い方など正しく理解しているとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能が身に付いている。 【思考・判断・表現】 自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽に親しむために、感性を高め、音楽によって生活や社会を豊かにしていく態度が身に付いている。	○	○	○	24	
E 単元：鑑賞 【知識及び技能】 舞台芸術作品について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 舞台芸術としての音楽を表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 作品の特徴や舞台芸術の特性を認識し積極的に理解しようとする。	・鑑賞 (オペラ、ミュージカル、交響曲第九他)			○	【知識・技能】 多様な表現を理解し、創意工夫を生かした音楽表現を味わって鑑賞することができる。 【思考・判断・表現】 自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽に親しむために、感性を高め、音楽によって生活や社会を豊かにしていく態度が身に付いている。	○	○	○	7	
合計										70

東京都立小台橋高等学校 年間授業計画 令和05年度

教科 **芸術** 科目 **美術 I**

教科： 芸術

科目： 美術 I

単位数： 2 単位

対象年次： 第 1 年次

使用教科書・補助教材： 高校生の美術 1 (日 文 美 I 7 0 2)

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】

創意工夫を生かした表現をするために必要な技能が身に付いている。

【思考力、判断力、表現力等】

作品を通じて、表現の意図や工夫に気づき、美しさなどを認め、表現に活かすことができる。

【学びに向かう力、人間性等】

主体的に幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、芸術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度が身に付いている。

科目 美術 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の動きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める。	主体的に幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度が身に付いている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配当 時数
		絵・ 彫	デ 映	鑑 賞					
A 単元 【知識及び技能】 基本的な表現方法を理解し、作品に表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 課題内容を理解し、課題条件を守った上で道具を適切に扱える。 【学びに向かう力、人間性等】 制作活動に積極的に取り組み、提出物をきちんと提出できる。また、課題に対する達成目標を明確に持ち、先を見通して計画的に課題に取り組める。	描画・色彩基礎 (各画材によるグラデーション表現)		○	○	【知識及び技能】 画材ごとによるグラデーションの見え方や作り方の違いを理解し、その効果を作品として表現できている。 【思考力、判断力、表現力等】 制作手順を理解し、使用画材や表現方法ごとに必要な材料を適切に選んで制作している。 課題条件を守った上で、自身の表現したい色の組み合わせを工夫するなどして、こだわりを持って制作している。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組み、自身が目指す完成度を思い描きながら制作している。 提出物を締め切りを守って提出している。 話をよく聞きながらワークシートに取り組んでいる。	○	○	○	14
B 単元 【知識及び技能】 デッサンの手順を理解し、作品に表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 課題内容を理解し、課題条件を守った上で道具を適切に扱える。また、効果的な表現方法を参考にして、自分が表現したい構図や配色、陰影関係を構想し制作に取り組むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 制作活動に積極的に取り組み、提出物をきちんと提出できる。また、課題に対する達成目標を明確に持ち、先を見通して計画的に課題に取り組める。	着彩デッサン (静物)	○		○	【知識・技能】 鉛筆の運び方や絵具の適切な水分量、制作手順を的確に理解し、道具を扱っている。 デッサンをするときの適切な姿勢を理解し、実践できている。 【思考・判断・表現】 制作手順を理解し、使用画材や表現方法ごとに必要な材料を適切に選んで制作している。 課題条件を守った上で、自身の表現したい構図や陰影関係のイメージを持ち、こだわりを持って工夫して制作している。 【主体的に学習に取り組む態度】 意欲的に課題に取り組み、自身が目指す完成度を思い描きながら制作している。 提出物を締め切りを守って提出している。 話をよく聞きながらワークシートに取り組んでいる。	○	○	○	14
C 単元 【知識及び技能】 凸版画の制作の流れを理解し、道具の使い方や名称を理解して使い分けことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 課題内容を理解し、課題条件を守った上で道具を適切に扱える。また、自身が表現したい色彩イメージを明確にして、他者にそのイメージが伝わるように色彩計画を立てて制作に取り組むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 制作活動に積極的に取り組み、提出物をきちんと提出できる。また、課題に対する達成目標を明確に持ち、先を見通して計画的に課題に取り組める。	彫刻基礎 (凸版)	○		○	【知識・技能】 制作手順を的確に理解し、道具を適切に扱っている。 刃物を扱う際の注意事項を理解し、守れている。 【思考・判断・表現】 制作手順を理解し、表現方法ごとに必要な道具を適切に選んで制作している。 課題条件を守った上で、自身の表現したい色彩イメージを明確に持って、工夫して制作している。 【主体的に学習に取り組む態度】 意欲的に課題に取り組み、自身が目指す完成度を思い描きながら制作している。 提出物を締め切りを守って提出している。 話をよく聞きながらワークシートに取り組んでいる。	○	○	○	14
D 単元 【知識及び技能】 石粉粘土の特徴や制作の流れを理解し、表現方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 課題内容を理解し、課題条件を守った上で道具を適切に扱える。また、自身が表現したいイメージを明確にして、制作に取り組むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 制作活動に積極的に取り組み、提出物をきちんと提出できる。また、課題に対する達成目標を明確に持ち、先を見通して計画的に課題に取り組める。	塑造表現 (石粉粘土)	○		○	【知識・技能】 制作手順を的確に理解し、道具を適切に扱っている。 【思考・判断・表現】 表現内容に合わせて道具を扱っている。 課題条件を守った上で、自身の表現したいイメージを明確に持って、工夫して制作している。 【主体的に学習に取り組む態度】 意欲的に課題に取り組み、自身が目指す完成度を思い描きながら制作している。 提出物を締め切りを守って提出している。 話をよく聞きながらワークシートに取り組んでいる。	○	○	○	14
E 単元 【知識及び技能】 点描画の制作の流れを理解し、表現方法を理解して効果的に描画できる。 【思考力、判断力、表現力等】 課題内容を理解し、課題条件を守った上で道具を適切に扱える。また、自身が表現したいイメージを明確にして、制作に取り組むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 制作活動に積極的に取り組み、提出物をきちんと提出できる。また、課題に対する達成目標を明確に持ち、先を見通して計画的に課題に取り組める。	点描画 (インテリアとしての点描作品制作)	○		○	【知識・技能】 制作手順を的確に理解し、道具を適切に扱っている。 【思考・判断・表現】 表現内容に合わせて道具を扱っている。 課題条件を守った上で、自身の表現したいイメージを明確に持って、工夫して制作している。 【主体的に学習に取り組む態度】 意欲的に課題に取り組み、自身が目指す完成度を思い描きながら制作している。 提出物を締め切りを守って提出している。 話をよく聞きながらワークシートに取り組んでいる。	○	○	○	14
合計									70



東京都立小台橋高等学校 年間授業計画 令和05年度

教科 **芸術** 科目 **工芸 I**

教科：芸術

科目：工芸 I

単位数： 2 単位

対象年次：第 1年次

使用教科書・補助教材： 工芸 I (日文 E I 7 0 1)

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】

創意工夫を生かした表現をするために必要な技能が身に付いている。

【思考力、判断力、表現力等】

作品を通じて、表現の意図や工夫に気づき、美しさなどを認め、表現に活かすことができる。

【学びに向かう力、人間性等】

主体的に幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、芸術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度が身に付いている。

科目 工芸 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の動きなどについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識をもって工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。	主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、工芸の伝統と文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度が身に付いている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現		評価規準	知	思	態	配当 時数
		身	社					
A 単元 【知識及び技能】 身の回りの道具や用具などについて形や素材などの性質、造形的な特徴を基に全体のイメージなどで捉えることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 身の回りの道具や用具などに見られる造形的なよさや美しさを感じ取る。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に、身の回りの道具や用具などから造形的なよさや美しさを感じ取る。	【鑑賞】 ○オリエンテーション ・創作活動としての工芸			【知識・技能】身の回りの道具や用具などについて形や素材などの性質、造形的な特徴を基に全体のイメージなどで捉えることを理解している。 【思考・判断・表現】身の回りの道具や用具などに見られる造形的なよさや美しさを感じ取っている。 【主体的に学習に取り組む態度】主体的に、身の回りの道具や用具などから造形的なよさや美しさを感じ取っている。	○	○	○	1
B 単元 【知識及び技能】 普段使用しているものや道具について、それらもつ機能や使う場面、使う人間の身体的特徴などを基に、形や大きさの基準が設けられていることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日用品や道具などのかたちや大きさに見られる用途との関係性(用の美)を感じ取り、機能と造形の関係に着目し、身体尺度などの視点から、どのような意図でつくられたかについて考え、見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に、普段使用しているものや道具の形や大きさなど、その特徴と機能との関係について、自ら疑問をもち、見方や感じ方を深める創造活動に取り組む。	【鑑賞】 ○工芸のかたち 機能と造形 ○素材と技法 木 「チーク材」と用途と制作行程について ○プロダクトデザインについて 【表現】 ○「使い手を想定した靴ペラの制作」 ○身の回りのものを観察する ・アイデアスケッチ ・レンダリング ・設計図(三面図)	○	○	【知識・技能】 普段使用しているものや道具の形や大きさ、使われている素材や造形的な特徴などを基に、形や大きさなど機能の関係性について理解している。 【思考・判断・表現】身近な生活や社会の中で使用するものや道具の形と大きさ、その機能との関係から、どのような意図でつくられ工夫されているのかについて考え、見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】主体的に、普段使用しているものや道具の形や大きさなど、その特徴と機能との関係について、自ら疑問をもち、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	21
C 単元 【知識及び技能】 形や色彩、素材などの性質やそれらが感情にもたらす効果、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 身の周りの工芸作品などから、受け継がれてきた日本の工芸の特質や美意識、自然観などを感じ取り、想像力を働かせ工芸の伝統と文化について考え、見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に、工芸作品などから、日本の工芸の特質や美意識、自然観などを感じ取り、想像力を働かせ工芸の伝統と文化について考え、見方や感じ方を深める創造活動に取り組もうとする。	【表現】 ○「雫朱のキーホルダー制作」 ・アイデアスケッチ ・設計図 【鑑賞】 ○工芸と風土や素材 ○漆の特性と表現技法			【知識・技能】 形や色彩、素材などの性質やそれらが感情にもたらす効果、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 【思考・判断・表現】身の回りの工芸作品などから、受け継がれてきた日本の工芸の特質や美意識、自然観などを感じ取り、想像力を働かせ工芸の伝統と文化について考え、見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】主体的に、工芸作品などから、日本の工芸の特質や美意識、自然観などを感じ取り、想像力を働かせ工芸の伝統と文化について考え、見方や感じ方を深める創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	12
D 単元 【知識及び技能】 造形の要素の働きなどを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解するとともに、染織やテキスタイルデザインを理解して、意図に応じて材料や用具を生かし、手順や技法などを吟味して創造的に表す。 【思考力、判断力、表現力等】 使う人の願いや心情、使用する場などから毎日を過ごす上で心豊かに演出するスニーカーのデザインを発想し、使用する人や場などに求められる機能と美しさとの調和を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に使う人の心情や場などから発想する、生活を心豊かにする表現や、工芸品のよさや美しさを感じ取り、デザイナーの心情や意図と制作過程における工夫や技法などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞に、取り組もうとする。	【表現】 ○「スニーカーデザイン制作」 ・アイデアスケッチ ・模様のデザイン 【鑑賞】 ○素材と技法 染織と工芸(手書き友禅) ○海外のテキスタイルデザイン			【知識・技能】 ファブリックの質感や色彩、素材などの性質やそれらが感情にもたらす効果、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 【思考・判断・表現】使う人の願いや心情、使用する場などから毎日を過ごす上で心豊かに演出するスニーカーのデザインを発想し、使用する人や場などに求められる機能と美しさとの調和を考え、制作の構想を練っている。 【主体的に学習に取り組む態度】主体的に、使う人の願いや心情、使用する場などから発想し、生活を心豊かに演出するスニーカーデザインの表現の創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	20

<p>E 単元</p> <p><b>【知識及び技能】</b> 毛糸という素材の性質などを基に、編み方による全体のイメージの違いなどについて理解するとともに、意図に応じて編み方や手の動かし方などを工夫し創造的に表す。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 機織り作品の表現の豊かさや美しさなどから、身の回りのコースターやランチョンマットの使用を発想し、使用目的や機能と美しさの調和を考え制作の構想を練ったり、機織りの伝統と文化に対する見方や感じ方を深めることができるようにする。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 主体的に、使う人の願いや場などから発想する、生活を心豊かにする表現や機織りのよさや美しさを感じ取り、作者の制作意図と過程における工夫や技法などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に取り組もうとする。</p>	<p><b>【表現】</b> ○「機織りでコースターとランチョンマット制作」</p> <p><b>【鑑賞】</b> ○素材と技法 織り</p>		<p><b>【知識・技能】</b> 毛糸や糸などの機織りに使用されている素材の性質や、編み込まれたときの表情や質感などによる全体のイメージなどについて理解している。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> 編みの連続性や配色を工夫し、心豊かにコースターとランチョンマットを発想し、制作の構想を練っている。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 主体的に自分の願いや思いなどを編み方の工夫や技法によって表現しようとする創造活動に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	16	合計
								70



東京都立小台橋高等学校 年間授業計画 令和05年度

教科 **家庭** 科目 **家庭基礎**

教科： 家庭 科目： 家庭基礎 単位数： 2 単位

対象年次： 第 1・2年次

使用教科書・補助教材： 未来へつなぐ 家庭基礎365 (教図 家基702)

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】	人の一生のなかで、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに関わる技能を身に付けている。
【思考力、判断力、表現力等】	自らの生活の中から問題を見出して、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、生涯を見通して課題を解決する。
【学びに向かう力、人間性等】	人の一生の中で様々な人々と協働し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活、環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論述するなど、生涯を見通して課題を解決する。	様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	記 時 数
A 単元 A編 第1章 生涯の生活設計 【知識及び技能】 生涯発達の視点から各ライフステージの特徴・課題とそれに対応した意思決定の必要性について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 自らの目標を想定し、そのために必要なことやリスクについて考えさせる。人生に関する名言について調べ、生涯発達や様々な生き方、意思決定の重要性などに関連づけて自分の考えを論理的に表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 人生で起こりうるライフイベントについて自分の将来と照らし合わせながら主体的に考えさせる。生涯発達の視点で各ライフステージごとの発達課題に関心をもち、学習活動に取り組ませる。	○人は一生発達する ○これからの人生に何が起こるか ○人生の課題を解決しよう ○平均寿命 ・人生設計プリント ・DVD鑑賞 ・資料読解	【知識・技能】 生涯発達の視点から各ライフステージの特徴・課題とそれに対応した意思決定の必要性について理解している。 【思考・判断・表現】 自らの目標を想定し、そのために必要なことやリスクについて考えている。人生に関する名言について調べ、生涯発達や様々な生き方、意思決定の重要性などに関連づけて自分の考えを論理的に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 将来と照らし合わせながら主体的に考えようとしている。生涯発達の視点で各ライフステージごとの発達課題に関心をもち、学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	4
B 単元 A編 第2章 青年期の自立と家族・家庭 【知識及び技能】 青年期の5つの自立について理解させる。現代の家族の特徴について、家族機能の変化や人々の意識の変化などから理解させる。新聞や書籍、インターネットなどを活用したり、身近な知人へのインタビューをしたりすることにより、家族について必要な資料を収集したり、調査させる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分自身のアイデンティティとなる内面について見つめ直し、まとめさせる。自分の人生をどのように送るか、関連資料などを参考に将来を想像しながらまとめさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 家族・家庭と社会との関わりに関心をもち、男女が協力して家庭を築くという視点から学習活動に取り組ませる。「おとな」になることの意義について、自分の考えを持って向き合わせる。さまざまな家族の形や性のあり方について、理解させる。青年期の課題や家族・家庭についての学習を自分の問題として捉えさせる。	○自立への一歩を踏み出そう ○家族・家庭ってなに？ ○将来の自分と家庭を想像する  ○子どもはどう生まれ育つ？ ○子どもとどうかかわろう？ ○これからの子育てとは？ ○育児休業  ・プリント ・DVD ・資料読解	【知識・技能】 青年期の5つの自立について理解している。現代の家族の特徴について、家族機能の変化や人々の意識の変化などから理解している。新聞や書籍、インターネットなどを活用したり、身近な知人へのインタビューをしたりすることにより、家族について必要な資料を収集したり、調査したりすることができる。 【思考・判断・表現】 自分自身のアイデンティティとなる内面について見つめ直し、まとめることができる。自分の人生をどのように送るか、関連資料などを参考に将来を想像しながらまとめている。 【主体的に学習に取り組む態度】 家族・家庭と社会との関わりに関心をもち、男女が協力して家庭を築くという視点から学習活動に取り組もうとしている。「おとな」になることの意義について、自分の考えを持って向き合おうとしている。さまざまな家族の形や性のあり方について、理解しようとしている。青年期の課題や家族・家庭についての学習を自分の問題として捉えようとしている。	○	○	○	10
A編 第3章 子どもの生活と保育 【知識及び技能】 子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義を理解させる。子どもの生活の概要を理解させる。生命の尊さを認識するとともに、保育における親やおとなの役割を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義を捉え、子どもにとってよい環境について考え、意見をまとめさせる。親の役割や子どもを生き育てることの意義について考え、まとめたり、発表させる。親の役割や子どもにとって望ましい保育環境について、自分の考えを入れながらまとめさせる。現代の子どもを取り巻く環境の変化や課題についてまとめたり、発表したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 子どもに対するイメージを膨らませ、実践的・体験的な学習を通して、学習に取り組もうとしている。保育における親や社会の果たす役割について考えようとしている。子どもの権利と福祉について考えようとしている。自分が将来、保育に関わる存在であることを理解し、自分ごととして学習に取り組んでいる。			○	○	○	10
定期考査						2

<p>C 単元 A編 第4章 高齢期の生活と福祉</p> <p><b>【知識及び技能】</b> 高齢者の心身の特徴について理解している。我が国の高齢化の特徴を知り、高齢者福祉の現状と課題について理解させる。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 高齢化が進む現状や高齢者を取り巻く社会について知り、その課題と改善について新聞や書籍、インターネットなどを活用して調査したり発表したりすることができる。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 高齢者に対する福祉の現状を理解し、高齢期の生活を支えるしくみについて考えようとしている。祖父母や身近な高齢者とふれ合う意欲と姿勢がある。高齢者の自立と尊厳について、高齢者の立場に立って理解させる。</p>	<p>○高齢期ってどういう時期？ ○高齢化する日本を生きる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プリント</li> <li>・DVD</li> <li>・資料読解</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b> 高齢者の心身の特徴について理解している。我が国の高齢化の特徴を知り、高齢者福祉の現状と課題について理解している。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> 高齢化が進む現状や高齢者を取り巻く社会について知り、その課題と改善について新聞や書籍、インターネットなどを活用して調査したり発表したりすることができる。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 高齢者に対する福祉の現状を理解し、高齢期の生活を支えるしくみについて考えようとしている。祖父母や身近な高齢者とふれ合う意欲と姿勢がある。高齢者の自立と尊厳について、高齢者の立場に立って理解しようとしている。</p>				6
<p>D 単元 A編 第5章 共生社会と福祉</p> <p><b>【知識及び技能】</b> 自助、互助、共助、公助について理解させる。共生社会の重要性を知り、ノーマライゼーション、ユニバーサルデザインなどの理念を理解させる。社会保障制度や公的年金制度について理解させる。地域のコミュニティ活動、ボランティア活動、NPOの活動などについて情報を集めさせる。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 共生社会とは何か、考えたりまとめたりすることができる。共生社会の重要性を考え、その実現のための課題について具体的に考え、資料を収集してまとめさせる。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 地域社会の一員として、個人や集団がどのようにつながり、支え合っていくか、考えようとしている。さまざまな立場の人や、自分と異なる価値観の人に対しても理解させる。共生社会実現のために、自分に何ができるかを考えさせる。</p>	<p>○共生社会ってなんだろう？ ○ノーマライゼーションとは</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プリント</li> <li>・DVD</li> <li>・資料読解</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b> 自助、互助、共助、公助について理解している。共生社会の重要性を知り、ノーマライゼーション、ユニバーサルデザインなどの理念を理解している。社会保障制度や公的年金制度について理解している。地域のコミュニティ活動、ボランティア活動、NPOの活動などについて情報を集めることができる。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> 共生社会とは何か、考えたりまとめたりすることができる。共生社会の重要性を考え、その実現のための課題について具体的に考え、資料を収集してまとめさせる。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 地域社会の一員として、個人や集団がどのようにつながり、支え合っていくか、考えようとしている。さまざまな立場の人や、自分と異なる価値観の人に対しても理解しようとしている。共生社会実現のために、自分に何ができるかを考えようとしている。</p>	○	○	○	4
<p>定期考査</p>						2
<p>E 単元 B編 第1章 食生活と健康</p> <p><b>【知識及び技能】</b> 食と健康の関わりについて知り、食事の大切さを理解させる。各ライフステージごとの食生活の課題と改善策について理解させる。栄養素の特徴と、それを多く含む食品について理解させる。日常用いられる食品の栄養的特質、調理上の性質について科学的視点から理解している。食品の表示の意味を理解させる。食中毒や食物アレルギーについて理解し、健康・安全を考えた調理をさせる。日常食の調理について、栄養バランスのよい献立作成、食材の選択、調理、盛り付け、マナー、配膳などについて総合的に理解させる。資源、エネルギーに配慮した食品の購入、調理、保存ができるようにする。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 自身の食生活を分析し、現代の食生活の傾向と課題と比較して、まとめたり、発表したりさせる。食事摂取基準や食品群別摂取量のめやすを活用し、自身や家族の献立を考え、作成することができる。自身の食生活について、人と比較する。食品の表示を理解させる。調理実習や実験、新聞や書籍、インターネットによる資料収集などを通して、食の安全や栄養素について、考えをまとめたり、発表したりすることができる。自分の住む地域や他の地域の食文化について調べたりまとめたりすることができる。自給率の低下や外食・中食への依存など現在の食生活の問題について深く考えている。調理の安全や衛生について具体的に考えている。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 栄養素や食品の知識を生かして、自分や家族の食生活を改善させる。食生活の多様化や食環境の変化について知り、食生活と環境について科学的に考えさせる。実生活で食品の表示を見て活用させる。食の安全・衛生について関心を持ち、現代の食生活における課題について目を向けさせる。配膳や食事マナーを考えて、食事を整え、楽しく食事をさせる。自身や家族のほか、さまざまな年齢・ライフスタイルの人に必要栄養素、適した献立について興味を持って調べさせる。行事食・郷土食・伝統的な加工食品などの食生活の文化と背景について理解し、自身が将来の担い手であるという意識を持たせる。</p>	<p>○なぜごはんを食べるの？ ○私たちは何を食べているの？ ○安全に食べよう ○健康に食べよう ○おいしく食べよう ○これからも食事を楽しむために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プリント</li> <li>・DVD</li> <li>・実習</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b> 食と健康の関わりについて知り、食事の大切さを理解している。各ライフステージごとの食生活の課題と改善策について理解している。栄養素の特徴と、それを多く含む食品について理解している。日常用いられる食品の栄養的特質、調理上の性質について科学的視点から理解している。食品の表示の意味を理解している。食中毒や食物アレルギーについて理解し、健康・安全を考えた調理をすることができる。日常食の調理について、栄養バランスのよい献立作成、食材の選択、調理、盛り付け、マナー、配膳などについて総合的に理解している。資源、エネルギーに配慮した食品の購入、調理、保存ができる。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> 自身の食生活を分析し、現代の食生活の傾向と課題と比較して、まとめたり、発表したりすることができる。食事摂取基準や食品群別摂取量のめやすを活用し、自身や家族の献立を考え、作成することができる。自身の食生活について、人と比較して意見を言うことができる。食品の表示を理解し、購入時の判断材料とすることができる。調理実習や実験、新聞や書籍、インターネットによる資料収集などを通して、食の安全や栄養素について、考えをまとめたり、発表したりすることができる。自分の住む地域や他の地域の食文化について調べたりまとめたりすることができる。自給率の低下や外食・中食への依存など現在の食生活の問題について深く考えている。調理の安全や衛生について具体的に考えている。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 栄養素や食品の知識を生かして、自分や家族の食生活を改善しようとしている。食生活の多様化や食環境の変化について知り、食生活と環境について科学的に考えようとしている。実生活で食品の表示を見て活用しようとしている。食の安全・衛生について関心を持ち、現代の食生活における課題について目を向けている。配膳や食事マナーを考えて、食事を整え、楽しく食事をしようとしている。自身や家族のほか、さまざまな年齢・ライフスタイルの人に必要栄養素、適した献立について興味を持って調べている。行事食・郷土食・伝統的な加工食品などの食生活の文化と背景について理解し、自身が将来の担い手であるという意識を持っている。</p>	○	○	○	14

<p>F 単元 B編 衣生活と健康</p> <p><b>【知識及び技能】</b>      被服の機能・衣服が健康に与える影響について理解させる。ライフステージや目的に応じた衣服について理解させる。三原組織や編物の構造を理解している。平面構成と立体構成の特徴を理解させる。被服の入手、洗濯、保管などの被服管理について理解し、管理できる技術を習得させる。布の縫い方など、基礎的な技術を身に付けさせる。資源の有効利用の観点から、購入、活用、手入れ、再利用、廃棄まで考えた被服計画の必要性について理解させる。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b>      衣生活に関する学習を通して、自身の着装について考え、まとめたり、発表したりすることができる。被服の社会的機能について、新聞、書籍、インターネットなどを通して資料を収集したり、調査したりしてまとめることができる。衣服の原料から廃棄（再利用）までの流れを調べ、まとめさせる。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b>      自身の衣生活の分析を通して、衣服に関心を持ち、現代の衣生活に関心を持たせる。衣服の機能や安全性、環境への配慮などの知識を生かして、自分の衣生活を改善させる。社会的慣習に適応しながらも自己実現する着装の工夫をし、着用の目的に応じて健康的な衣服選択と着装を心がけさせる。被服材料に応じた被服の整理や管理について考えさせる。私たちの衣生活に関する文化や背景について理解し、自身が将来の担い手であるという意識を持たせる。</p>	<p>○衣服の役割って何だろう？      ○衣服はどうやってつくられている？      ○衣服の計画・管理を知ろう      ○今後の衣生活を考えよう      ・プリント      ・DVD      ・製作物</p>	<p><b>【知識・技能】</b>      被服の機能・衣服が健康に与える影響について理解している。ライフステージや目的に応じた衣服について理解している。三原組織や編物の構造を理解している。平面構成と立体構成の特徴を理解している。被服の入手、洗濯、保管などの被服管理について理解し、管理できる技術を習得している。布の縫い方など、基礎的な技術を身に付けている。資源の有効利用の観点から、購入、活用、手入れ、再利用、廃棄まで考えた被服計画の必要性について理解している。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b>      衣生活に関する学習を通して、自身の着装について考え、まとめたり、発表したりすることができる。被服の社会的機能について、新聞、書籍、インターネットなどを通して資料を収集したり、調査したりしてまとめることができる。自分の衣生活について、人と比較して意見を言うことができる。衣服の原料から廃棄（再利用）までの流れを調べ、まとめることができる。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b>      自身の衣生活の分析を通して、衣服に関心を持ち、現代の衣生活に関心を持つようとしている。衣服で個性を表現しようとしている。衣服の機能や安全性、環境への配慮などの知識を生かして、自分の衣生活を改善しようとしている。社会的慣習に適応しながらも自己実現する着装の工夫をし、着用の目的に応じて健康的な衣服選択と着装をしようとしている。被服材料に応じた被服の整理や管理について考えようとしている。私たちの衣生活に関する文化や背景について理解し、自身が将来の担い手であるという意識を持っている。</p>	○	○	○	14
<p>定期考査</p>						2
<p>G 単元 B編 第3章 住生活と住環境</p> <p><b>【知識及び技能】</b>      住宅の役割、住空間の計画、住環境の整備について科学的に理解させる。安全で快適な住生活を送るための知識を身に付け、環境にも配慮した住生活について理解させる。住む人々の各ライフステージごとの変化や住宅に求める事柄の変化について理解させる。住居の平面図を読みとらせる。様々な住宅様式の文化的側面を理解させる。地域社会とつながり、暮らすことの重要性について理解させる。住生活の設計に必要な情報を収集・整理し、計画をたてる。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b>      各ライフステージに応じた住居について考え、まとめさせる。住んでいる地域のハザードマップなどを参考にしながら、防災への備えについてまとめたり発表したりさせる。防犯、防火、耐震などの安全性が高く、日照、採光、換気、遮音などに配慮して健康的に住むことができる住居について考えさせる。気候や風土に応じた住居の特徴や変遷について考え、まとめたり、発表したりさせる。動線を考えて平面図を作成し、まとめさせる。自然環境や社会環境と調和した住居のあり方について、新聞、書籍、インターネットなどを通して資料を収集したり、考えをまとめたりさせる。住居のバリアフリーやユニバーサルデザインについてまとめさせる。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b>      住まいの役割について、自身の生活を振り返りながら考えさせる。住居の手入れについて考えさせる。住居の安全性や住生活の文化について関心を持っている。将来の住まい方について考えようとしている。地域施設との関係や、集まって住むルールなど、地域のコミュニティと共生できる住居のあり方などについて理解しようとしている。住居の持続可能性について自分ごととして考えさせる。伝統的な住居や景観などについて知り、自身が将来の担い手であるという意識を持たせる。</p>	<p>○どのような家に住みたい？      ○安全に住もう      ○快適に住もう      ○住まいの課題と未来の暮らし      ・プリント      ・DVD</p>	<p><b>【知識・技能】</b>      住宅の役割、住空間の計画、住環境の整備について科学的に理解している。安全で快適な住生活を送るための知識を身に付け、環境にも配慮した住生活について理解している。住む人々の各ライフステージごとの変化や住宅に求める事柄の変化について理解している。住居の平面図を読みとることができる。様々な住宅様式の文化的側面を理解している。地域社会とつながり、暮らすことの重要性について理解している。住生活の設計に必要な情報を収集・整理し、計画をたてることができる。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b>      各ライフステージに応じた住居について考え、まとめたり、発表したりできる。住んでいる地域のハザードマップなどを参考にしながら、防災への備えについてまとめたり発表したりすることができる。防犯、防火、耐震などの安全性が高く、日照、採光、換気、遮音などに配慮して健康的に住むことができる住居について考えることができる。気候や風土に応じた住居の特徴や変遷について考え、まとめたり、発表したりすることができる。動線を考えて平面図を作成し、まとめたり発表したりすることができる。自然環境や社会環境と調和した住居のあり方について、新聞、書籍、インターネットなどを通して資料を収集したり、考えをまとめて発表したりできる。住居のバリアフリーやユニバーサルデザインについてまとめることができる。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b>      住まいの役割について、自身の生活を振り返りながら考えようとしている。住居の手入れについて考えようとしている。住居の安全性や防災の知識を生かして、家庭生活において具体的な行動に移すことができる。住生活の文化について関心を持っている。将来の住まい方について考えようとしている。地域施設との関係や、集まって住むルールなど、地域のコミュニティと共生できる住居のあり方などについて理解しようとしている。住居の持続可能性について自分ごととして考えようとしている。伝統的な住居や景観などについて知り、自身が将来の担い手であるという意識を持っている。</p>	○	○	○	6

<p>H 単元 C編 第1章 生活における経済の計画</p> <p><b>【知識及び技能】</b> 家計と経済社会の関わりを理解している。家計の管理に関する具体的な事例を収集し、整理することができる。生涯を見通した経済計画の重要性について理解させる。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 家計管理について具体的な事例を通して、シミュレーションさせる。さまざまな金融商品のメリットとデメリットについて具体的に調べ、発表させる。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 収入と支出のバランスを考えられる。家計の構造、家計における収支バランスや計画性にとどまらず、将来にわたるリスクを想定して、不測の事態に備えた貯蓄や金融商品の活用などの資金計画について関心をもたせる。</p> <p>C編 第2章 消費生活と意思決定</p> <p><b>【知識及び技能】</b> 消費行動における意思決定の過程とその要因について理解させる。三者間契約など、さまざまな契約のしくみや、未成年と成年の法律上の違いについて理解させる。消費者保護のしくみや、消費者問題の原因と被害に遭わないための対策について理解させる。契約や消費者信用、多重債務などの問題について具体的に認識し、消費者として適切な判断をさせる。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ひとつの情報を鵜呑みにするのではなく、情報を正しく活用する情報リテラシーについて考えさせる。消費者の責任について考え、今後の課題と解決方法について発表したり、意見交換したりさせる。持続可能な社会のためにできる消費行動のあり方について、新聞、書籍、インターネット、自身や周囲の生活から具体例を収集し、まとめる。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 消費行動への意思決定には様々な要因があることを理解し、自身の消費行動として具体的に考えさせる。自分の意思で契約できる「おとな」としての権利と責任について、自分ごととして捉えさせる。消費者問題について自分ごととして捉えて対策を考えさせる。また、他人への啓発の意識を持っている。消費者の権利と責任に関心を持ち、現代の消費生活と資源・環境や持続可能な社会についても考えさせる。</p> <p><b>【知識及び技能】</b> 環境問題についての基礎的な知識を身に付けている。</p> <p><b>【思考力・判断力、表現力等】</b> 問題になっているさまざまな環境問題について調べ、私たちの暮らしとの関係についてまとめたり発表したりさせる。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 環境を考え、自らの生活を变えようとしている。</p>	<p>○将来に向けて家計を考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プリント</li> <li>・DVD</li> </ul> <p>○何をどうやって買う？</p> <p>○賢い消費者になろう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プリント</li> <li>・DVD</li> </ul> <p>○未来の地球環境は大丈夫？</p> <p>○私たちにできることはなんだろう？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プリント</li> <li>・DVD</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b> 家計と経済社会の関わりを理解している。家計の管理に関する具体的な事例を収集し、整理することができる。生涯を見通した経済計画の重要性について理解している。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> 家計管理について具体的な事例を通して、シミュレーションすることができる。さまざまな金融商品のメリットとデメリットについて具体的に調べ、発表することができる。将来必要になる費用や資産形成について考えたり、発表したりすることができる。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 収入と支出のバランスを考え、自分の計簿をつけるなど工夫している。家計の構造、家計における収支バランスや計画性にとどまらず、将来にわたるリスクを想定して、不測の事態に備えた貯蓄や金融商品の活用などの資金計画について関心をもっている。</p> <p><b>【知識・技能】</b> 消費行動における意思決定の過程とその要因について理解している。三者間契約など、さまざまな契約のしくみや、未成年と成年の法律上の違いについて理解している。消費者保護のしくみや、消費者問題の原因と被害に遭わないための対策について理解している。契約や消費者信用、多重債務などの問題について具体的に認識し、消費者として適切な判断ができる。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> ひとつの情報を鵜呑みにするのではなく、情報を正しく活用する情報リテラシーについて考えている。消費者問題について調べ、被害防止や救済について、具体的な事例を通して考え、まとめたり、発表したりすることができる。消費者の責任について考え、今後の課題と解決方法について発表したり、意見交換したりすることができる。持続可能な社会のためにできる消費行動のあり方について、新聞、書籍、インターネット、自身や周囲の生活から具体例を収集し、まとめたり、発表したりすることができる。日々の消費生活について、その背景や社会への影響について考えている。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 消費行動への意思決定には様々な要因があることを理解し、自身の消費行動として具体的に考えようとしている。自分の意思で契約できる「おとな」としての権利と責任について、自分ごととして捉えようとしている。消費者問題について自分ごととして捉えて対策を考えようとしている。また、他人への啓発の意識を持っている。消費者の権利と責任に関心を持ち、現代の消費生活と資源・環境や持続可能な社会についても考えようとしている。</p> <p><b>【知識・技能】</b> 環境問題についての基礎的な知識を身に付けている。国際的視点にたった地球環境への影響、理念だけではなく実質的行動に移すことの重要性を理解している。環境問題に対する社会の取り組みを理解している。SDGsとその背景について理解し、日々の生活と関連づけることができる。環境に配慮した消費行動に必要な情報を収集・整理することができる。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> 問題になっているさまざまな環境問題について調べ、私たちの暮らしとの関係についてまとめたり発表したりすることができる。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 環境を考え、自らの生活を变えようとしている。</p>		<p>4</p> <p>2</p> <p>70</p>
<p>定期考査</p>				

東京都立小台橋高等学校 年間授業計画 令和05年度

教科 **情報** 科目 **情報 I**

教科： 情報 科目： 情報 I 単位数： 2 単位

対象年次： 第 1年次

使用教科書・補助教材： 新編情報 I (東書 情 I 7 0 1)

教科	情報	の目標：
【知識及び技能】	情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深められるようにする。	
【思考力、判断力、表現力等】	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	
【学びに向かう力、人間性等】	情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。	

科目	情報 I	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	記 時 数
<p>A 情報社会の問題解決</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報社会と人との関わりについて理解させる。</li> <li>情報の法規、制度、マナーの意義、情報社会の個人を果たす役割や責任を考察させる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報を適切に用いさせる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報社会と人との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとする力を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報モラル</li> <li>メディアの特性</li> <li>個人情報の流出個人</li> <li>個人を傷つけないために</li> <li>コミュニケーション集団の変化</li> <li>著作権</li> <li>問題解決</li> <li>情報技術の発展</li> <li>情報化と私たちの変化・よりよい情報社会へ</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ネットを理解し、情報モラルが身につけている。</li> <li>問題解決のプロセスを理解している。</li> <li>個人情報とは何かを理解している。</li> <li>インターネットの不適切な使い方による問題を理解している。</li> <li>著作権について理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>伝える情報に対して適切な表現メディアを判断することができる。</li> <li>身近な問題について、問題解決のプロセスを当てはめて考えることができる。</li> <li>自他の個人情報の扱いについて考えることができる。</li> <li>著作権の利用について適切に判断することができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報モラルを身につけようとしている。</li> <li>情報やメディアの特性を理解しようとしている。</li> <li>身近な問題について、問題解決のプロセスを当てはめようとしている。</li> <li>個人情報を適切に扱おうとしている。</li> <li>情報社会の構築について考えようとしている。</li> </ul>	○	○	○	15
定期考査			○	○	○	1
<p>B コミュニケーションと情報デザイン</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ネットコミュニケーションの特徴について理解させる。</li> <li>色と動画のデジタル化の方法、情報を圧縮する方法を理解させる。</li> <li>ユニバーサルデザインとは何かを理解させる。</li> <li>アナログとデジタルの違いを理解させる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ネットコミュニケーションのメリット・デメリットについて考えることができる。</li> <li>情報を適切に抽象化・可視化して表現させる。</li> <li>デザイン思考をふまえた問題解決を検討し表現させる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータで色や動画をデジタル化する方法に興味を持たせる。</li> <li>全ての人に使いやすいデザインの工夫や取り組みを考える力を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネットコミュニケーションの特徴</li> <li>デジタルの世界へ</li> <li>数値と文字のデジタル表現</li> <li>2進数の表現</li> <li>音と動画のデジタル化</li> <li>色と動画でデジタル化</li> <li>目的に応じたデジタル化</li> <li>情報デザイン</li> <li>ユニバーサルデザイン</li> <li>情報デザインの流れ</li> <li>情報デザイン演習</li> <li>文書デザイン</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>色と動画のデジタル化の方法を理解している。</li> <li>情報を圧縮する方法、情報デザインの方法を理解している。</li> <li>ユニバーサルデザインとは何かを理解している。</li> <li>デザイン思考の流れを理解している。</li> <li>アナログとデジタルの違いを理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ネットコミュニケーションの特徴について考えることができる。</li> <li>色や光の三原色を調整して、コンピュータで色を表現することができる。</li> <li>情報を可視化して表現することができる。</li> <li>情報を抽象化し表現することができる。</li> <li>問題解決にむけたデザインを検討することができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータで色や動画をデジタル化する方法に興味を持とうとしている。</li> <li>ユーザ分析をして、効果的なコミュニケーションのために情報デザインを行おうとしている。</li> </ul>	○	○	○	15
定期考査			○	○	○	1



<p>C コンピューターとプログラミング</p> <p><b>【知識及び技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータの外部装置や内部処理の仕組みについて理解させる。</li> <li>・アルゴリズムを表現する方法を理解させる。</li> <li>・プログラムの順次構造、分岐構造、反復構造を理解させる。</li> <li>・モデルとシミュレーションの活用について理解させる</li> </ul> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・より効率の良いアルゴリズムを考えさせ、プログラムとして表現させる。</li> <li>・コンピュータで扱われる情報の特徴とコンピュータの能力との関係について考察させる。</li> <li>・モデル適切に選択し、シミュレーションさせる。</li> </ul> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決に向けより良いプログラムの実装を目指し、主体的課題に取り組む態度を養う。</li> <li>・目的に応じたモデル化やシミュレーションを適切に行う態度を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピューターコンピューターとは何か</li> <li>・ソフトウェアの仕組み</li> <li>・演習の仕組みとコンピューターの限界</li> <li>・アルゴリズムの表現</li> <li>・アルゴリズムをWebブラウザ上で実行する</li> <li>・プログラムの順次構造</li> <li>・プログラムの分岐構造</li> <li>・プログラムの反復構造</li> <li>・プログラム演習</li> <li>・モデル化とシミュレーション</li> <li>・シミュレーションの活用</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータの外部装置の仕組みや特徴について理解している。</li> <li>・アルゴリズムを表現する方法を理解している。</li> <li>・プログラムの順次構造、分岐構造、反復構造を理解している。</li> <li>・配列やリストを用いたプログラムを理解している。</li> <li>・モデルとシミュレーションの活用について理解している。</li> </ul> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適切なアルゴリズムを考えることができる。</li> <li>・アルゴリズムをプログラムとして表現することができる。</li> <li>・より効率の良いアルゴリズムとプログラムを考えることができる。</li> <li>・モデル適切に選択し、シミュレーションすることができている。</li> </ul> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータの仕組みについて関心を持つことができている。</li> <li>・問題解決に向けより良いプログラムの実装を目指し、アルゴリズムを主体的に検討しようとしている。</li> <li>・コンピュータによるシミュレーションを通して適切なモデルの検討について主体的にしようとしている。</li> </ul>	○	○	○	17
定期考査			○	○	○	1
<p>D 情報通信ネットワークとデータの活用</p> <p><b>【知識及び技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び、情報セキュリティを確保するための方法や技術について理解させる。</li> <li>・データの形式、データベース、データモデルがどのように活用されているか理解する。</li> <li>・データを収集して可視化する技能を身につけさせる。</li> </ul> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報セキュリティの重要性について考えさせる。</li> <li>・データ収集、整理、分析する方法について考えさせる。</li> <li>・データの性質を適切に判断し表現させる。</li> </ul> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な情報セキュリティについて関心を持たせる。</li> <li>・身近にあるデータモデルに興味を持たせる。</li> <li>・問題解決のためにデータを収集、分析し、結果を表現する態度を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワークとインターネット</li> <li>・インターネットの仕組み</li> <li>・サーバーとクライアント</li> <li>・インターネット上のサービス</li> <li>・情報セキュリティ</li> <li>・データ形式</li> <li>・データベースの活用</li> <li>・さまざまなデータモデル</li> <li>・データ分析の流れ</li> <li>・目的に合わせたデータの利用</li> <li>・アンケートを利用したプレゼンテーション資料の作成</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び、情報セキュリティを確保するための方法や技術について理解している。</li> <li>・データの形式、データベース、データモデルがどのように活用されているか理解している。</li> <li>・データを収集して可視化する技能を身につけている。</li> </ul> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報セキュリティの重要性について考えることができている。</li> <li>・データ収集、整理、分析する方法について考えることができている。</li> <li>・データの性質を適切に判断し表現することができる。</li> </ul> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な情報セキュリティについて関心を持つことができている。</li> <li>・身近にあるデータモデルに興味を持ち課題に取り組むことができている。</li> <li>・問題解決のためにデータを収集、分析し、結果を表現する態度を持ち主体的に演習に取り組むことができている。</li> </ul>	○	○	○	19
定期考査			○	○	○	1
						合計
			○	○	○	70

東京都立小台橋高等学校 年間授業計画 令和05年度

教科 **人間と社会** 科目 **人間と社会**

教科： 人間と社会 科目： 人間と社会 単位数： 1 単位

対象年次： 第 2年次

使用教科書・補助教材： 人間と社会（東書）

教科 人間と社会

の目標：

【知識及び技能】	予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】	社会的現実にはらし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりから課題を見だし、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それを基に議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	演習や体験活動に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよさを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目 人間と社会

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。	社会的現実にはらし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりから課題を見だし、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それを基に議論したりする力を養う。	演習や体験活動に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよさを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
			知	思	態	
A 序章 【知識及び技能】 「人間と社会」における学習内容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分が「大切にしていきたいこと」について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分が考える「大切にしたいこと」を他者と意見交換でき、他者の意見を受容することができる。	・「人間と社会」学習項目 ・「人間と社会」学習の視点	出欠状況、授業・課題への取り組み状況、課題の提出状況などを総合的に判断し評価する。	○	○	○	1
B 第1章【人間関係を築く】 コミュニケーションとは何かを理解する/ よりよい人間関係を築くための考え方について理解する。 【知識及び技能】 自分の考えや思いを伝え、他者の考えや思いを理解するには何が必要かを考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 よりよい人間関係を築くための方法について主体的に取り組むことができる。	・人間関係を築くことの必要性について考える。 ・自己理解と他者理解について学ぶ。 ・よりよい人間関係を築くための考え方について学ぶ。	出欠状況、授業・課題への取り組み状況、課題の提出状況などを総合的に判断し評価する。	○	○	○	4
C 第2章【学ぶことの意義】 【知識及び技能】 人はなぜ学び続けるのかについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 自分にとっての学びについて考え、今後どのように学び続けるかを考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 「なぜ学ぶのか」という問いに主体的に取り組むことができる。	・人はなぜ「学ぶ」のかを考える。 ・高校生活で学ぶべきことについて考える。 ・学び続けることについて考える。	出欠状況、授業・課題への取り組み状況、課題の提出状況などを総合的に判断し評価する。	○	○	○	4
D 第3章【働くことの意義】 【知識及び技能】 人はなぜ働くのかについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 働くことを通じて自分はどのように社会へ貢献していきたいかを考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 働くことを通じて自らがどのように社会に携わっていくかを考え行動することができる。	・働くことの意義について学ぶ。 ・自己の適性や個性を活かして社会貢献していくことの大切さについて考える。 ※8時間の体験活動を含む。	出欠状況、授業・課題への取り組み状況、課題の提出状況などを総合的に判断し評価する。	○	○	○	14
E 第13章【地域社会を築く】 【知識及び技能】 地域社会における活動について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 地域社会を築く為に大切なことを考え、高校生としてどう携わっていくかを考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 地域社会における活動に自らが高校生としてどのように携わることができるかを考え実践することができる。	・地域社会におけるさまざまな活動について知る。 ・地域社会における現状と課題を知り、今後自分がどのように携わっていくかについて考える。 ※4時間の体験活動を含む。	出欠状況、授業・課題への取り組み状況、課題の提出状況などを総合的に判断し評価する。	○	○	○	12
						35

東京都立小台橋高等学校 年間授業計画 令和05年度

教科 **総合的な探究の時間** 科目 **総合的な探究の時間 (FD2)**

教科: 総合的な探究の時間

科目: 総合的な探究の時間 (FD2)

単位数: 1 単位

対象年次: 第 2年次

使用教科書・補助教材: 本校作成テキスト

教科 総合的な探究の時間 の目標:

【知識及び技能】	未来設計をするために必要な学習を通じて、自ら主体的に選択できる知識・技術を身に付けている。
【思考力、判断力、表現力等】	将来に必要なコミュニケーション能力を養い、他者と意見を共有しながらテーマを理解し、研究計画を立てる力を身に付けようとしている。
【学びに向かう力、人間性等】	自己の進路適性、充実、生き甲斐を探究して、生涯にわたって学びに取り組む力を身に付けようとしている。

科目 総合的な探究の時間 (FD2) の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
SDGsや現代の諸課題に興味関心を持ち、課題研究に取り組むための基礎・基本的な知識を身に付ける。修学旅行の中で自身の興味関心を深めるために事前及び事後学習に取り組む。	研究をすることにおいて必要となる知識を自分事として捉えて理解する。自らの考え方と他者の考え方の相違点を認識し、課題解決に向けて自身の考えを練り直し、表現する。	探究の基礎学習に関して、考える力を身に付けようと主体的に取り組んでいる。将来の進路希望に基づいた履修計画をしている。修学旅行を学びの場として捉えて活動している。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	評価			配当 時数
			知	思	態	
A 単元 情報の集め方・整理 【知識及び技能】 情報源の種類と信頼性についての理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 必要な情報を集めたり整理したりするための方法を模索している。 【学びに向かう力、人間性等】 学んだことを自身の課題研究や将来のために活用しようとしている。	・SDGsとは何か ・情報源の種類と信頼性 ・情報収集の視点 ・検索の仕方	出欠状況、授業・課題への取り組み状況、課題の提出状況などを総合的に判断し評価する。	○	○	○	5
B 単元 問いの立て方 【知識及び技能】 「問い」を立てることの意義と、様々な問いの種類について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分で考えて問いを立てることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 常識や当たり前と思う物事に対して疑問を持つとする。	・「問いを立てる」とは ・問いの種類 ・グラフの読み方	出欠状況、授業・課題への取り組み状況、課題の提出状況などを総合的に判断し評価する。	○	○	○	7
C 単元 テーマ設定 【知識及び技能】 研究テーマ設定の方法と流れを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の興味関心をマンダラートを用いて書き出す。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の興味関心を言葉として発信しようとしている。	・「マンダラート」について知ろう ・興味関心をキーワード化しよう	出欠状況、授業・課題への取り組み状況、課題の提出状況などを総合的に判断し評価する。	○	○	○	10
D 単元 履修計画 【学びに向かう力、人間性等】 担当教員に相談をしながら、自らの進路希望に合わせた履修計画を行なう。	・履修相談 ・履修計画	出欠状況、授業・課題への取り組み状況、課題の提出状況などを総合的に判断し評価する。			○	3
E 単元 修学旅行事前事後学習 【知識及び技能】 自分の興味関心の強い教科と関連させ、必要な知識を調べて取り入れる。学んだことをまとめることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 事前に得た知識と実際に見て得た知識を結び付け、学習成果をまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 興味関心のある項目や課題研究を見据えた学習に主体的に取り組んでいる。	・修学旅行事前学習 ・修学旅行事後学習 ・学習成果発表	出欠状況、授業・課題への取り組み状況、課題の提出状況などを総合的に判断し評価する。	○	○	○	10
						合計
						35